SONY®

3-860-402-**03** (1)

トリニトロン® カラーテレビ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠**警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

目次

特にことわりのないイラストは、KV-28SF3のものです。

KV-28SF3
KV-32SF7

万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 変なにおいや音がしたら
- 内部に異物が入ったら
- 音は出るが画面が映らないときは
- テレビを落としたり、キャビネットを破損したときは

➡

❶ 電源を切る

❷ 電源プラグをコンセントから抜く

❸ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

ソニー株式会社　〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

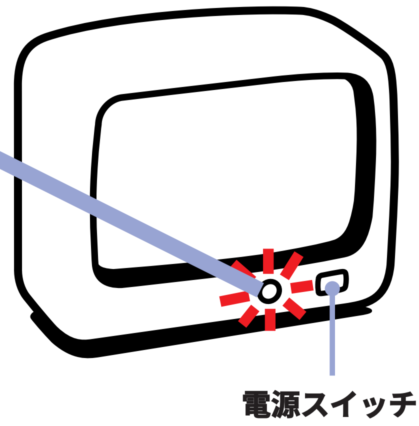
●東京(03)5448-3311●名古屋(052)232-2611●大阪(06)539-5111

Printed in Japan

テレビ、衛星放送を見る

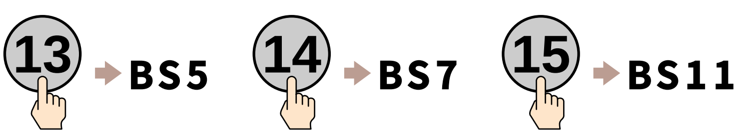
1 赤いスタンバイ／スリープランプまたは電源ランプがついているか確認する。

ついていないときは本体の電源スイッチを押します。



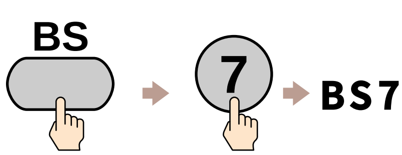
2 チャンネルを選ぶ。

ボタンを押すと、自動的にテレビがつきます。
衛星放送（BS）を見るには、数字ボタン⑬〜⑮を押します。



チャンネル+／ーボタンを押すと、①〜⑮の放送が順に映ります。
衛星放送（BS）は、BSボタンを使って見ることもできます。

例



3 音量を調整する。

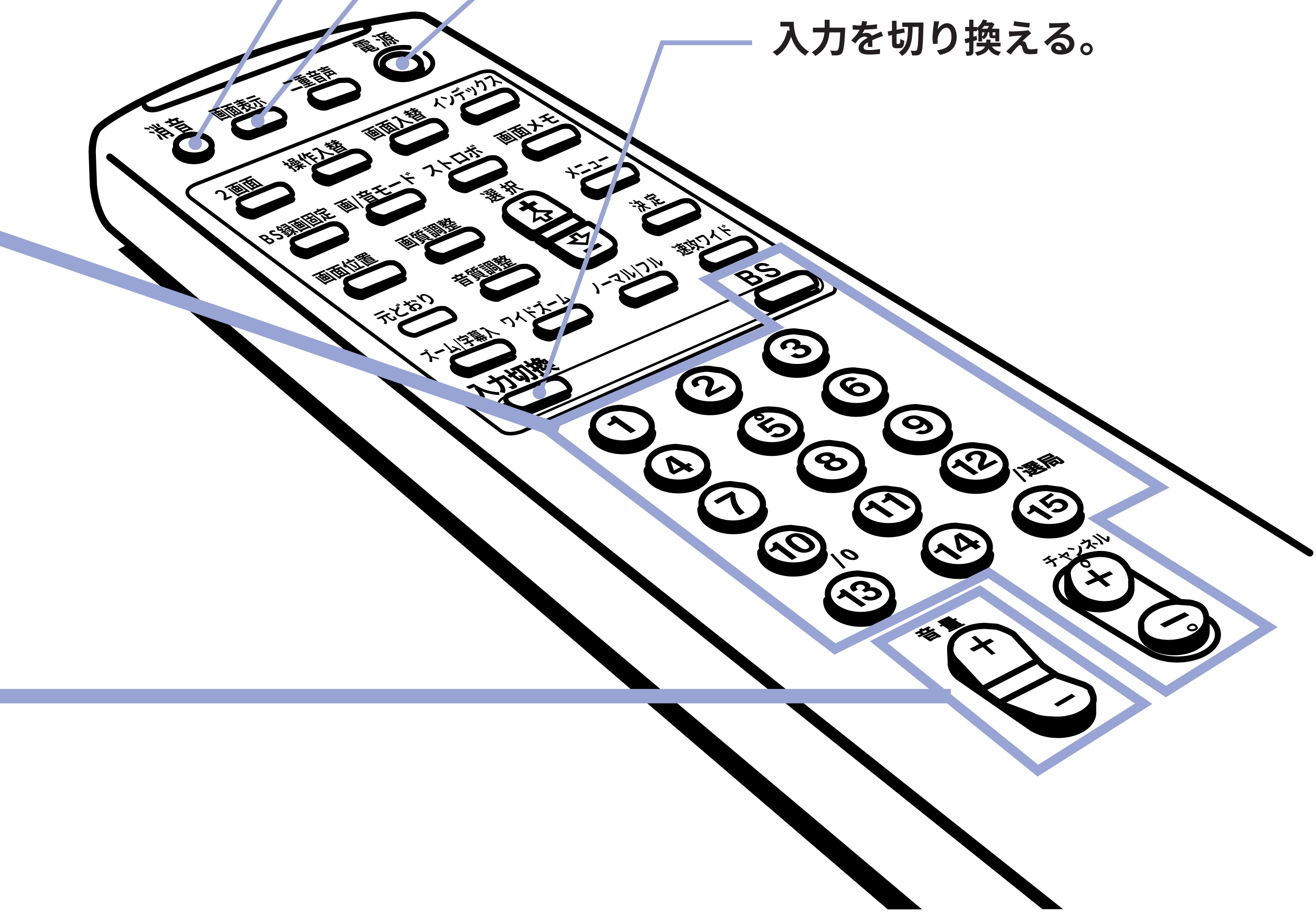
- スタンバイ／スリープランプがついているときは、緑色表示のボタンを押すと自動的にテレビがつきます。（チャンネルポン機能／インデックスポン機能）
- 有料の衛星放送（WOWOWなど）を見るときは、「有料の衛星放送を見る」をご覧ください（☞21ページ）。

音を一時的に消す。

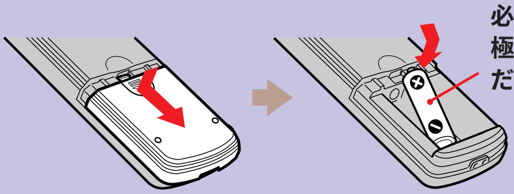
チャンネル表示
などを出す。

テレビをつける／消す。

入力を切り換える。



リモコンに乾電池を入れるには



単3形乾電池（付属）
必ずイラストのように⊖極側から電池を入れてください。

ワイド画面を楽しむ（オートワイド）

オートワイドとは本機が画像の種類を判断したり、画像といっしょに送られる識別信号＊に応じて、下記のように、**自動的に画面を切り換える機能**です。画像に応じて最適なワイド画面でお楽しみいただけます。

＊ **識別信号**
本機がその映像に最適なワイド画面へ切り換えられるように、画像の横縦比（4：3や16：9など）の情報をあらかじめ含んだテレビ放送やビデオ信号のことです。
テレビ放送では、ワイドクリアビジョン放送と4：3映像の識別信号があります。また、ビデオカメラなどのビデオ機器では、ID-1方式☆やS-1方式☆の識別信号があります。

こちらの画面が…

オートワイドがはたらくと…

メニュー操作で、「オートワイド」を「2」、「4：3映像」を「ワイドズーム」に設定したとき（☞6、7ページ）

…このように変ります。

識別信号のない画像のとき

通常のテレビ放送



ワイドズーム

横縦比4:3の映像（通常のテレビ画像）を拡大し、16：9の画面におさまるように上下のはみ出た部分を圧縮します。



ワイドズーム

黒帯付きの映画（字幕は映像の中）



ズ　ー　ム

横長の映像をそのまま拡大します。



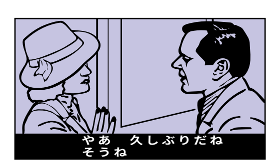
ズーム

黒帯付きの映画（字幕は映像の外）



字　幕　入

横長の映像を拡大し、16：9の画面におさまるように字幕の部分を圧縮します。



字幕入

識別信号のある画像のとき

ワイドクリアビジョン放送



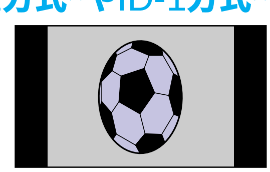
ズ　ー　ム

16:9の映像をそのまま画面いっぱいに拡大します。



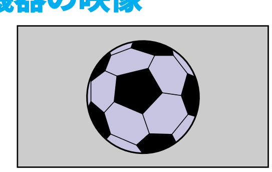
ズーム

S-1方式☆やID-1方式☆の識別信号が記録されているビデオ機器の映像



フル（またはズーム）

フル：4:3の映像を横幅だけ画面いっぱいに拡大します。
（ズーム：16：9の映像をそのまま画面いっぱいに拡大します。）



フル

オートワイドの「1」と「2」について

オートワイドには、「1」と「2」の2種類があり、メニュー操作で設定することができます。

オートワイド：1

テレビ放送では、ワイドクリアビジョン放送や一部の放送局の通常放送（4：3映像）に、映像を判別する識別信号が、電波に乗って送られています。また、ビデオカメラなど一部のビデオ機器でも同様の識別信号が出力されています。
このような識別信号を判断して、**忠実に再現する**のが、オートワイドの「1」です。ただし、識別信号がないときに、手動で選んだ画面モードによっては、画面の周囲が黒くなったり、映像の一部が欠けたりすることがあります。

オートワイド：2

左ページのように、識別信号の有無に関係なく、最適な画面モードに切り換えるのが、オートワイドの「2」です。

したがって、通常、ご家庭でオートワイド機能を十分にお楽しみいただくために、**「オートワイド」を「2」に設定すること（☞6ページ）をおすすめします。**

識別信号のない映像は

映像の種類	オートワイド：1	オートワイド：2
通常のテレビ放送（4：3映像）	手動で選んだ画面モードで映ります。	メニューで設定した画面モード（「ワイドズーム」または「ノーマル」）で映ります。☞6～7ページ。
黒帯付きの映画など	手動で選んだ画面モードで映ります。	ワイド画面（「ズーム」または「字幕入」）で映ります。

識別信号のある映像は

映像の種類	オートワイド：1	オートワイド：2
ワイドクリアビジョン放送	ワイド画面（「ズーム」）で映ります。	
S-1方式☆、ID-1方式☆識別信号の入った映像	ワイド画面（信号に対応した「ズーム」または「フル」）で映ります。	
4：3映像の識別信号が入っているテレビ放送	4：3画面（ノーマル）で映ります。	メニューで設定した画面モード（「ワイドズーム」または「ノーマル」）で映ります。☞6～7ページ。

手動で切り換えたあとなどでは、右の表のように、ならないことがあります。

☆のついた用語は用語集をご覧ください。☞54ページ

つづく

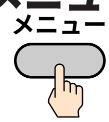


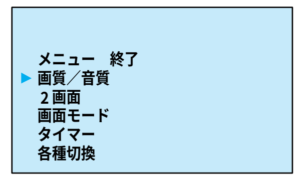
オートワイドを設定する

メニュー操作で、オートワイドを「1」か「2」に設定します。

1

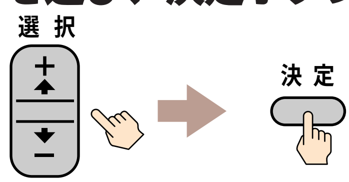
メニューボタン押す。

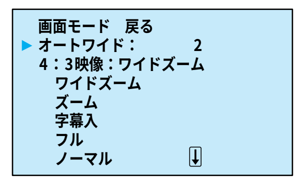




2

選択＋／－ボタンを押して「画面モード」を選び、決定ボタンを押す。

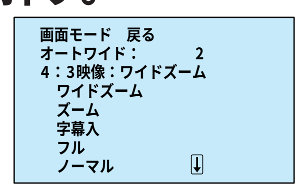




3

選択＋／－ボタンを押して「オートワイド」を選び、決定ボタンを押す。

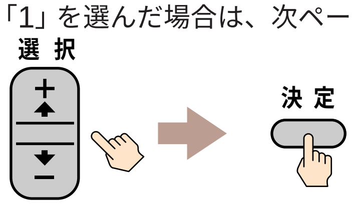


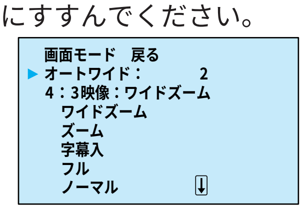


4

選択＋／－ボタンを押して「1」または「2」を選び、決定ボタンを押す。

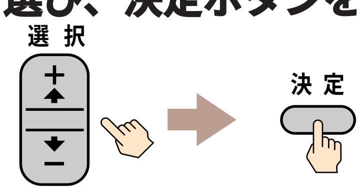
「1」を選んだ場合は、次ページの手順7にすすんでください。

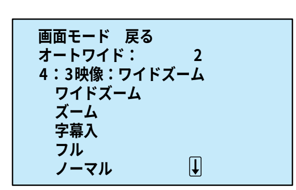




5

（手順4で「オートワイド：2」を選んだ場合のみ）選択＋／－ボタンを押して「4：3映像」を選び、決定ボタンを押す。

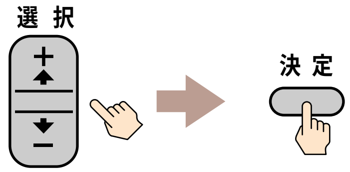


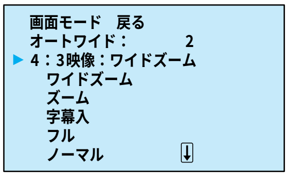


6

（手順4で「オートワイド：2」を選んだ場合のみ）

選択＋／－ボタンを押して通常のテレビ放送（4：3映像）をどう映すか（「ノーマル」または「ワイドズーム」）を選び、決定ボタンを押す。





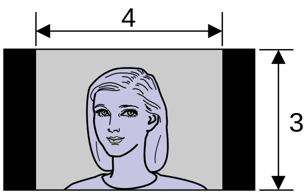
通常のテレビ放送（4：3映像）は、次のように切り換わります。

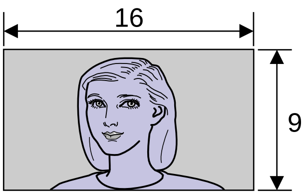
「ノーマル」にすると

横縦比4：3の映像のまま映ります。

「ワイドズーム」にすると

横縦比4:3の映像（通常のテレビ画像）を拡大し、16：9の画面におさまるように上下のはみ出た部分を圧縮します。





7

メニューボタンを押してメニューを消す。

オートワイド機能を働かせたくないときは

☞6ページの手順4で「切」を選びます。

識別信号の有無に関係なく、すべての映像を、現在選んでいる画面モードで映します。チャンネルや入力を切り換えたり、電源を入／切しても、画面モードは切り換わりません。

ワイド画面に関して

- このワイド画面テレビは、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組などソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差がでます。この点にご留意の上、画面モードをお選びください。
- このワイド画面テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどに置き、画面モード切り換え機能等を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- ワイド映像でない従来の4:3の映像を、ワイドズームモードを利用してワイド画面テレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えたりします。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像はノーマルモードでご覧になれます。

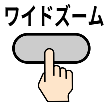
ワイド画面を手動で切り換える

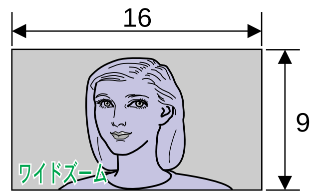


お好みのワイド画面に手動で切り換えることができます。
また、電波の受信状態が悪いときや、暗い部分が多い映像など、オートワイドが正しく動作しないときも、手動で切り換えてください。

押すと… **…このような画面モードに切り換わります。**

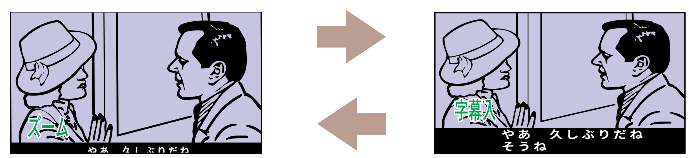
ワイドズーム



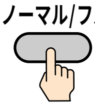


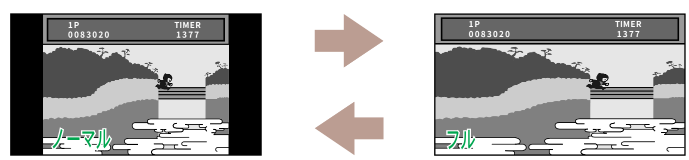
ズーム/字幕入



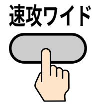


ノーマル/フル





速攻ワイド



すばやく最適なワイド画面に切り換わります。

手動で切り換えたあとは

オートワイドを「1」に設定しているとき
あらたに識別信号のある画像を受信すると、信号に忠実な画面モードに変ります。

オートワイドを「2」に設定しているとき
識別信号のない画像では、オートワイド機能が働かなくなります。（速攻ワイドボタンで切り換えたときのみ、オートワイド機能は働きつづけます。）
チャンネル切換や入力切換、電源入／切、親子画面での画面入替を行うと、再びオートワイド機能が働くようになります。

画面モードを固定しておくには
「オートワイド」を「切」に設定します。☞6ページ。

ワイド画面を使いこなす



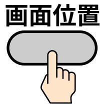
画面位置を上下に調整するには

以下のようなときは、画面を上下に動かしてください。

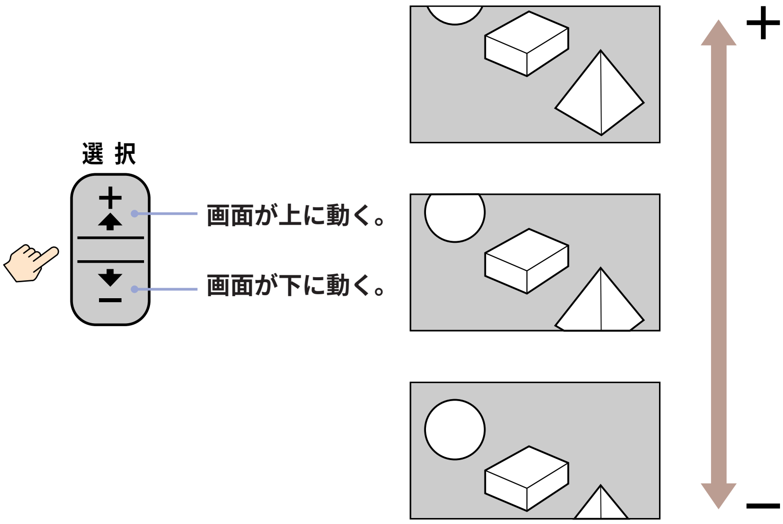
- **ワイドズーム画面で**画面の上または下が欠けるとき。
- **ズーム画面で**画面を見やすい位置にしたいとき。
- **字幕入画面にしても**字幕が画面に入りきらないとき。

ワイドズーム、ズーム、字幕入のそれぞれの画面について設定できます。

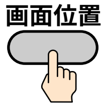
1 **画面位置ボタンを押す。**



2 **選択＋／－ボタンを押して画面の位置を調整する。**



3 **画面位置ボタンを押す。**



つづく

ワイド画面を使いこなす（つづき）

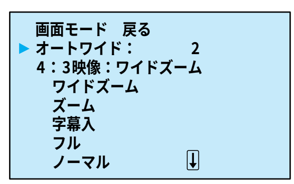


映像を縦方向に伸ばしたり縮めたりするには

この操作は、**ワイドズーム、ズーム、字幕入画面**のときに行うことができます。ワイドズーム、ズーム、字幕入のそれぞれの画面について設定することができます。

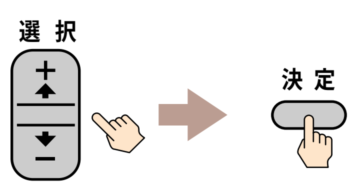
1 メニューボタンを押してメニューを出し、選択＋／−ボタンを押して▶を「画面モード」の位置に動かし、決定ボタンを押す。

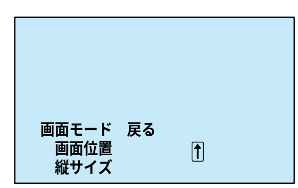




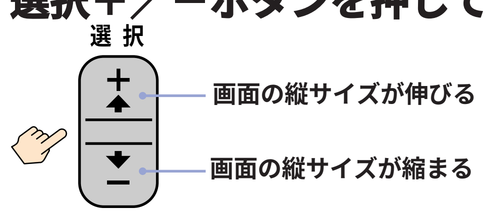
2 選択＋／−ボタンを押して「縦サイズ」を選び、決定ボタンを押す。

▶を「ノーマル」より下に移動させると、「画面モード」の次画面が現れ、「縦サイズ」がでてきます。





3 選択＋／−ボタンを押して調整する。



4 メニューボタンを押してメニューを消す。

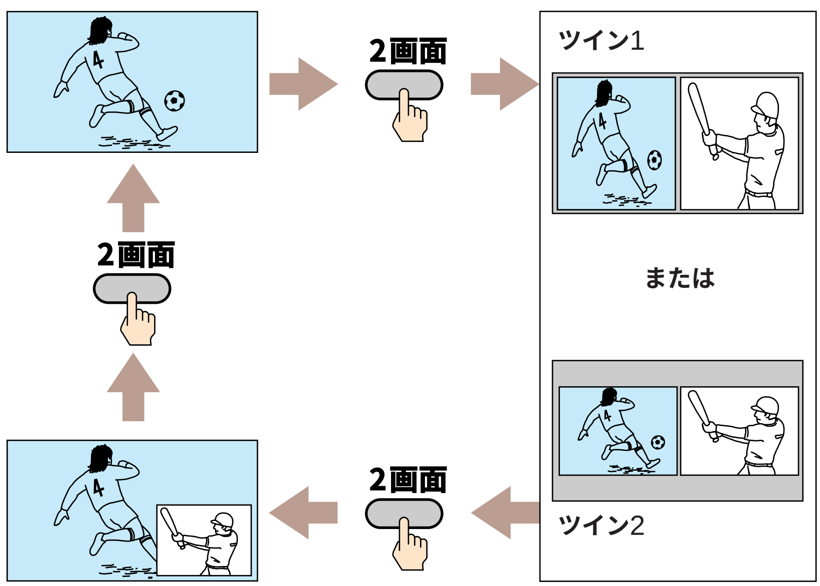
2画面で見る（ツインピクチャー機能）

ツインピクチャーまたは親子画面を使って2つのチャンネルを同時に見ることができます。また、ツインピクチャー機能でスピーカーとヘッドホンを使い、二種類の音が楽しめます。



2画面にする

通常の画面



親子画面

2画面のままテレビの電源を切り、その後再び電源を入れると
自動的に1画面に戻ります。

ツインピクチャーや親子画面に切り換えた直後は
常に左画面または親画面が操作できる画面になります。

2画面で見られない組み合わせ
VHF／UHFの同一チャンネル、BSの同一チャンネル、同一ビデオ入力、BSの別々のチャンネルを同時に見ることはできません。
ただし、BSチューナーのついたビデオデッキを使うと、ビデオ入力の画面でBSを見ることができます。

親子画面を見ていたあとで1画面に戻ると
親子画面のときの親画面が映ります。

ツイン1またはツイン2を切り換えるには

1. メニューボタンを押す。
2. 選択＋／ーボタンを押して「2画面」を選び、決定ボタンを押す。
3. 選択＋／ーボタンを押して「ツイン選択」を選び、決定ボタンを押す。
4. 選択＋／ーボタンを押して「ツイン1」または「ツイン2」を選び、決定ボタンを押す。
5. メニューボタンを押してメニューを消す。

つづく

2画面で見る (つづき)



左画面または親画面を録画することができます
本体裏面のビデオ出力端子からは左画面または親画面の映像／音声信号が出力されます。ビデオの接続については☞45～47ページ。
2画面を同時に録画することはできません。

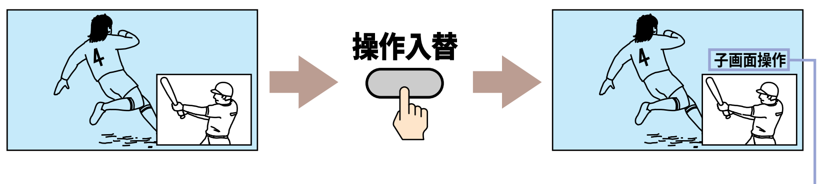
左画面または親画面の放送が終了したときは
約10分後に自動的にスタンバイモードになります。

親子画面使用上のご注意
この親子画面を喫茶店やホテル等で、営利目的または公衆に視聴させる目的で使用すると、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。

操作できる画面を切り換える

操作入替ボタンを押してください。
ツインピクチャーまたは親子画面の操作画面が切り換わり、音量調節、チャンネル切換、入力切換ができるようになります。

親子画面のとき



子画面の枠が緑になり、画面右上に約3秒間「子画面操作」という表示が出ます。

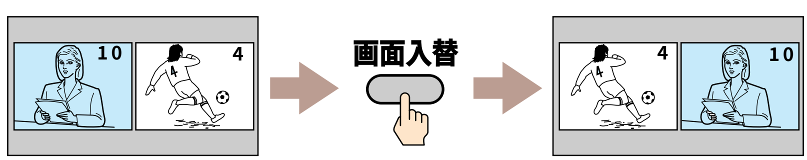
スピーカーからは操作画面の音声が出ます。
ヘッドホンをつないでいるときは☞13～14ページ。

親画面／左画面操作に戻すには

操作入替ボタンをもう一度押してください。

左右（または親子）の画面の位置を入れ替える

画面入替ボタンを押してください。



子画面の位置を変えるには

1 メニューボタンを押す。
2 選択＋／－ボタンを押して「2画面」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／－ボタンを押して「子画面位置」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／－ボタンを押して「左」または「右」を選び、決定ボタンを押す。
5 メニューボタンを押してメニューを消す。

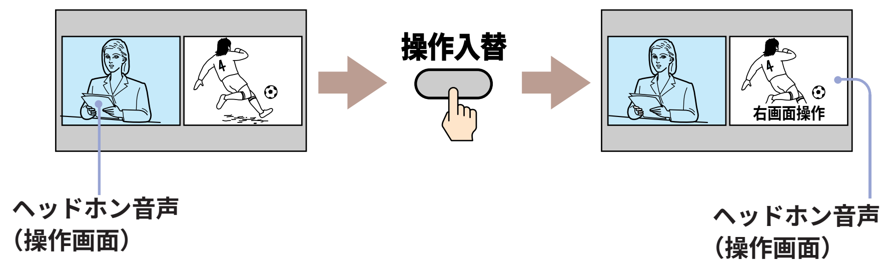
1画面のときにヘッドホンをつなぐと
ご覧になっている画面の音声をヘッドホンで聴くことができます。スピーカーからは音声は出ません。

ヘッドホンで音声を聴くには

ヘッドホンを使って2画面の音声を聴くことができます。状況に応じてヘッドホンモードを切り換えてお楽しみください。

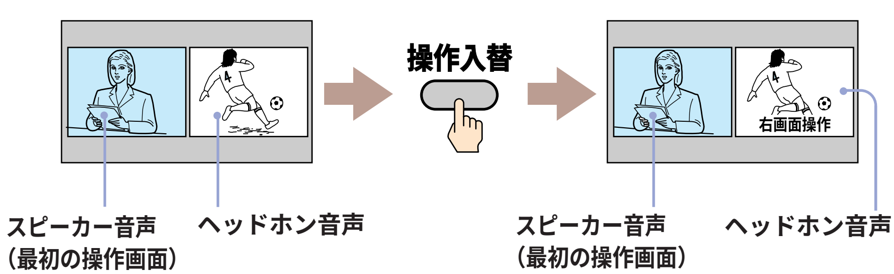
ひとりで静かにご覧になるとき ……「ヘッドホンモード：1」

スピーカーからは音声は出ません。
操作入替ボタンを押すと、ヘッドホンの音声がもう一方の画面の音声に切り換わります。



二人で別々の番組をご覧になるとき ……「ヘッドホンモード：2」

スピーカーとヘッドホンから別の音声が出ます。
まず、操作入替ボタンを押して、スピーカーで音声を聴きたいほうの画面を操作画面にしてください。
次に、メニューで「ヘッドホンモード」を「2」に切り換えてください（「ヘッドホンモードを選ぶには」☞14ページ）。「2」を選んだ後で、操作入替ボタンを押してもスピーカーとヘッドホンの音声は入れ替わりません。
音量調節やチャンネル切換、入力切換をしたいときは、操作入替ボタンを押してその画面を操作できるようにしてください。



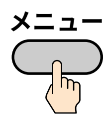
つづく

2画面で見る（つづき）

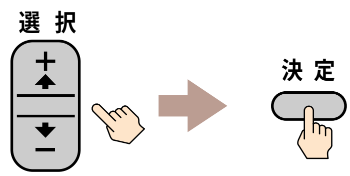


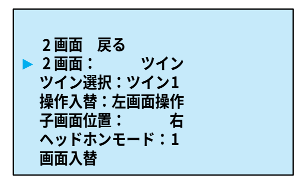
ヘッドホンモードを選ぶには

1 **メニューボタンを押す。**

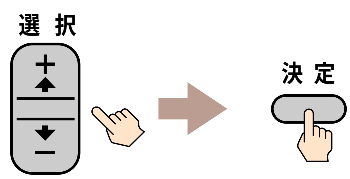


2 **選択＋／−ボタンを押して▶を「2画面」の位置に移動し、決定ボタンを押す。**

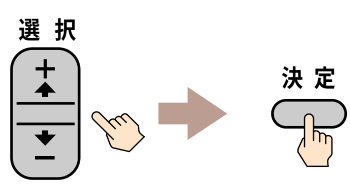




3 **選択＋／−ボタンを押して「ヘッドホンモード」を選び、決定ボタンを押す。**



4 **選択＋／−ボタンを押して「1」または「2」を選び、決定ボタンを押す。**



5 **メニューボタンを押してメニューを消す。**

2画面のときにヘッドホンを抜くと

「ヘッドホンモード：1」のときはヘッドホンで聴いていた音声が出ます。
「ヘッドホンモード：2」のときは、それまでスピーカーから出ていた音声が出ます。
また、それまでスピーカーから音声が出ていたほうの画面が操作画面になります。

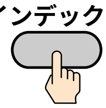
チャンネルを一覧表示する（チャンネルインデックス機能）



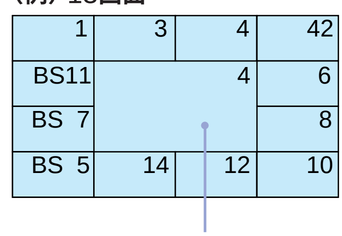
チャンネルインデックス機能を使って、設定されているすべてのチャンネルを順番に画面に映し出すことができます。次に見たい番組を確認したり、チャンネルを選ぶときに便利です。この機能を使う前にあらかじめ、チャンネル設定をしておいてください。（「チャンネルを自動設定する」☞34ページ。）

1 インデックスボタンを押す。

画面が13画面（または9画面）表示になり、それまで見ていたチャンネルが中央に表示されます。あらかじめ設定されているすべてのチャンネルが左上から時計回りに順番に映し出されます。



（例）13画面



チャンネルの数がインデックス画面の数よりも多い場合は、左上の画面に戻り前のチャンネルにかぶせて表示されていきます。最後のチャンネル表示が終わったあとは、左上の画面に戻り最初のチャンネルから表示動作を繰り返します。

2 チャンネル数字ボタンを押してチャンネルを選ぶ。

例1）10チャンネルを選ぶ

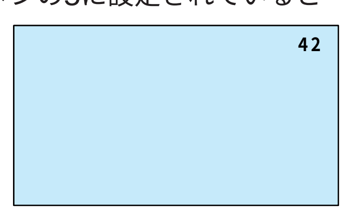


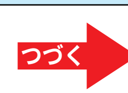


例2）42チャンネルを選ぶ

42チャンネルがチャンネル数字ボタンの5に設定されているときは、「5」を押します。







BSチャンネルについて

- BS録画固定時は固定されたチャンネルのみインデックス画面に表示されます。BS録画固定については「衛星放送を録画する」☞25ページ。
- 中央の画面にBSが映っている時は、BSはそのチャンネルのみインデックス画面に表示されます。
- 有料BSチャンネルはスクランブル☆がかかったままインデックス画面に表示されることがあります。

中央の画面の放送が終了したときは

約10分後に自動的にスタンバイモードになります。

☆の付いた用語は用語集をご覧ください。☞54ページ。

操作編

チャンネルを一覧表示する（つづき）



ご注意

- チャンネルインデックス中は画面モード（ワイドズームなど。☞4ページ）を切り換えたり、2画面（☞11ページ）にすることはできません。
- 画面メモ、ストロボを見ているときはチャンネルインデックスをすることはできません。
- チャンネルインデックス画面を録画することはできません。チャンネルインデックス中は中央の画面の映像／音声のみ本体裏面のビデオ出力端子から出力されます。
- チャンネルインデックス中はオートワイドの「4:3映像」の設定はできません。

インデックス画面の数（13画面または9画面）を選ぶには

（お買い上げ時は13画面に設定されています）

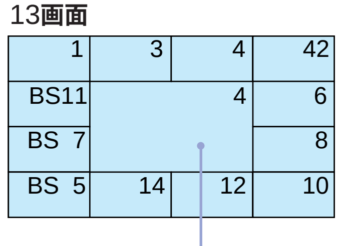
1 本体の設定ボタンを押す。

2 選択＋／－ボタンを押して「初期設定」を選び、決定ボタンを押す。

3 選択＋／－ボタンを押して「インデックス画面」を選び、決定ボタンを押す。

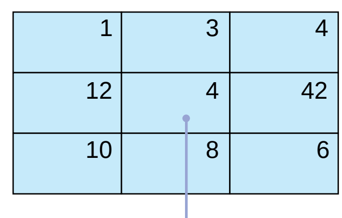
4 選択＋／－ボタンを押して「13画面」または「9画面」を選び、決定ボタンを押す。

13画面



それまで見ていたチャンネル

9画面



それまで見ていたチャンネル

5 設定ボタンを押してメニューを消す。

チャンネルインデックスを途中でやめるには

インデックスボタンをもう一度押します。チャンネルインデックスを始める前の画面に戻ります。また、チャンネル＋／－ボタン、入力切換ボタンを押すとチャンネルインデックスは解除され、選んだチャンネル／入力に切り換わります。

インデックスポン機能

スタンバイランプが点灯しているときにインデックスボタンを押すと、テレビの電源が入り、チャンネルインデックス画面が表示されます。
あらかじめ見たい番組が決まっていないときなどに使うと便利な機能です。

インデックス画面の画面モードについて

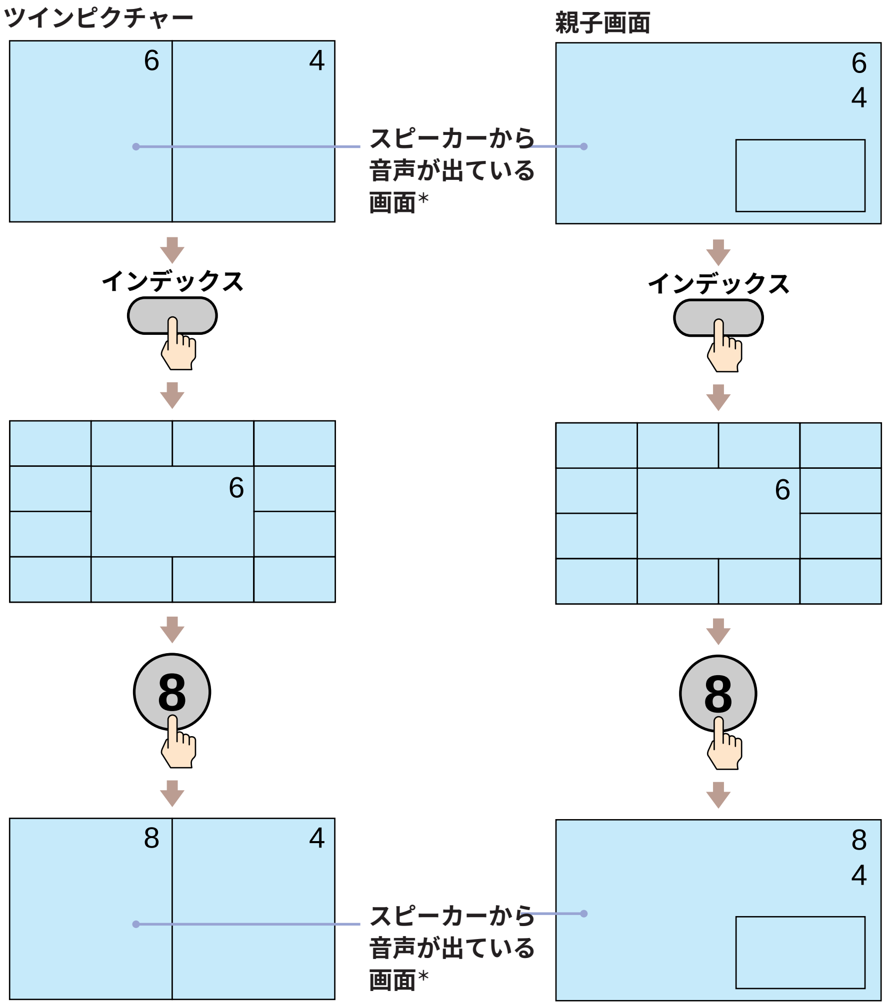
オートワイドの「4：3映像」設定（☞6ページ）にしたがって変わります。
「オートワイド」を「1」または「切」でご使用になっているときに、インデックス画面の画面モードを変更する場合は、一度「オートワイド」を「2」にして「4：3映像」で「ワイドズーム」、「ノーマル」を設定してから、再び「オートワイド」を「1」または「切」にして使用してください。
「4：3映像」が「ノーマル」のときは4：3の画面で表示されます。
「4：3映像」が「ワイドズーム」のときは画面いっぱいに表示されます。

録画中にインデックスボタンを押すと
ツインピクチャーの左画面または親子画面の親画面を録画しているときにインデックスボタンを押すと、チャンネル切り換えをしなくても録画されるチャンネルが切り換わることがありますのでご注意ください。

＊「ヘッドホンモード」を「1」（スピーカーから音声は出ません。☞13ページ）にして、ヘッドホンで音声を聴いているときは、ヘッドホンで音声を聴いている方の画面。

2画面時にチャンネルインデックスする

2画面（ツイン1／2、親子画面）のときにインデックスボタンを押すと、下記のように画面が切り換わります。



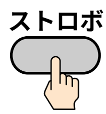
2画面同時に同じチャンネルを映すことはできません。

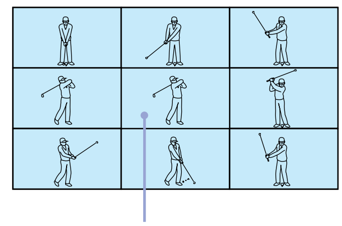
連続映像を見る（ストロボ機能）



連続した画面を8コマの静止画で見ることができます。
ゴルフのスイングなどを分析するのに便利です。

ストロボボタンを押す。





それまで映っていた画面が
引き続き映ります。（動画）

もとの画面に戻すには

ストロボボタンをもう一度押してください。

ストロボの間隔を変更するには

1 メニューボタンを押す。
2 選択＋／－ボタンを押して「各種切換」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／－ボタンを押して「ストロボ」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／－ボタンを押して「0.5秒」、「1秒」、「2秒」、「4秒」の中からお好きな間隔を選ぶ。
メニューの秒数は8コマを表示するのにかかる時間です。
5 メニューボタンを押してメニューを消す。

中央の画面の放送が終了したときは
約10分後に自動的にスタンバイモードになります。

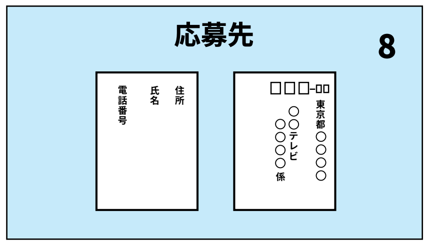
ご注意

- 2画面、画面メモ、チャンネルインデックスを見ているときはストロボ機能は働きません。
- ストロボ画面を録画することはできません。ストロボ中は中央の動画の映像／音声のみ本体裏面のビデオ出力端子から出力されます。

画面メモをする



画面メモボタンを押した瞬間の画面が静止して、右側に移ります。応募先や料理番組の材料を書き留めるのに便利です。

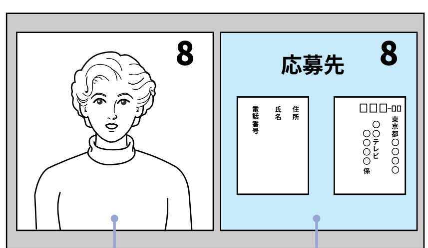


通常画面

画面メモ

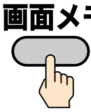


静止画面が出ます。

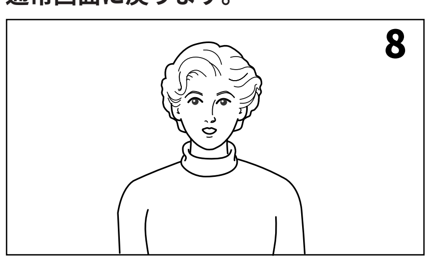


通常画面　静止画面

画面メモ



通常画面に戻ります。



画面メモを見ているときにチャンネル切換、入力切換をすると
自動的に1画面に戻ります。

ご注意
2画面、チャンネルインデックス、ストロボを見ているときは画面メモ機能は働きません。

左の通常画面の放送が終了したときは
約10分後に自動的にスタンバイモードになります。

ビデオなどを見る

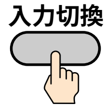


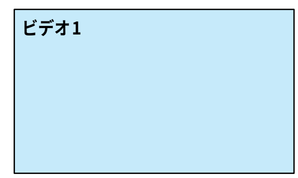
1 入力切換ボタンを押してビデオ機器をつないである入力を選ぶ。

押すたびに下記のように切り換わります。

ビデオ1→ビデオ2→ビデオ3→テレビ

入力切換





2 ビデオ機器の再生ボタンを押す。

詳しくはビデオ機器の取扱説明書をご覧ください。

テレビ画面に戻すには

チャンネル数字ボタンまたはチャンネル＋／－ボタン、入力切換ボタンを押してください。

有料の衛星放送を見る

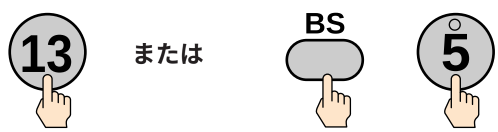


有料の衛星放送を見るには、BSデコーダー☆の接続（☞41ページ）が必要です。

1 BSデコーダーの電源を入れる。

2 チャンネルボタンを押して、チャンネルを選ぶ。

（例）WOWOWを見るには



独立音声を聞くには

1997年5月現在、独立音声放送☆はBS5チャンネル (St.GIGA) でのみ放送されています。(St.GIGAは、WOWOWとは別に受信契約が必要です。）

1 メニューボタンを押してメニューを出す。
2 選択＋／ーボタンを押して「各種切換」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／ーボタンを押して「TV／独立音声」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／ーボタンを押して「独立」を選び、決定ボタンを押す。
スクランブル☆がかかっているときは、デコーダー側で独立音声に切り換えます。
5 メニューボタンを押してメニューを消す。

ご注意
BSデコーダーを接続して有料の衛星放送を見ているとき、音声モードは表示されません。
音声モードの切り換えは、デコーダー側で行ってください。
また、このとき受信チャンネルは水色で表示されます。

☆のついた用語は用語集をご覧ください。☞54ページ。

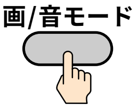
画質／音質を調整する



部屋の明るさや番組に合わせて、4種類の画質／音質を選ぶことができます。

部屋の明るさに合わせて画質を選ぶ

画／音モードボタンを押す。



押すたびに、画質／音質は下記の順に変わります。

●ダイナミック	明るい部屋で、明暗のはっきりしたメリハリのある映像を見たいとき
●スタンダード	ふつうの明るさの部屋で、くっきりした映像を見たいとき
●リビング	ご自分で基本的な画質／音質を設定して楽しみたいとき（設定のしかたは、☞23～24ページ）
●AVプロ	ご自分で専門的な画質まで設定して楽しみたいとき（設定のしかたは、☞23～24ページ）

ご注意

「ダイナミック」、「スタンダード」での画質／音質は調整できません。

通常、ご家庭でご覧になるときは

「リビング」の「画質調整」、「音質調整」を「標準」にしておくことをおすすめします。

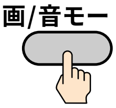
「リビング」、「AVプロ」の画質／音質設定について
テレビ、BS、ビデオ1、2、3入力それぞれについて画質／音質を設定することができます。

お好みの画質に調整する

「リビング」、「AVプロ」の画／音モードのときは画質をお好みに合わせて調整し、記憶させることができます。

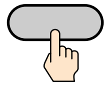
1 画／音モードボタンを押して、「リビング」または「AVプロ」の画面にする。

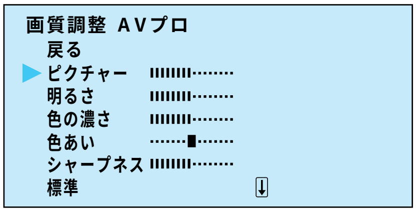
画/音モード



2 画質調整ボタンを押す。

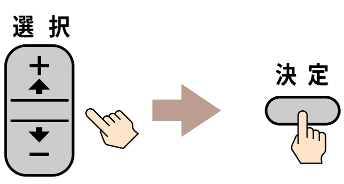
画質調整





ご注意
- 手順1の操作を行わなくても、画質調整ボタンを押すと画質調整画面に切り換わります。
- このとき、「ダイナミック」または「スタンダード」にしてたときは「リビング」の画／音モードに自動的に切り換わります。

3 選択＋／－ボタンを押して調整する項目に▶を合わせ、決定ボタンを押す。



操作編

つづく

画質の調整項目について

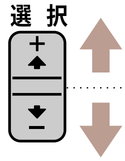
VM（ベロシティモジュレーション）(速度変調)	輪郭を強調します。
色温度	「低」を選ぶと、赤みがかった、暖かみのある色調になります。
Hホワイト（ハイパー）	白色の鮮明さを強調します。
黒補正	黒を強調してコントラストを強くします。

「リビング」では「ピクチャー」、「明るさ」、「色の濃さ」、「色あい」、「シャープネス」のみ調整することができます。

画質／音質を標準（お買い上げ時）の状態にするには
それぞれの調整項目の一番下にある「標準」を選び決定ボタンを押します。

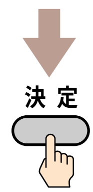
4 選択＋／－ボタンを押して調整し、決定ボタンを押す。

選 択



	ピクチャー	明るさ	色の濃さ	色あい	シャープネス
＋	明暗の差が、強くなる	明るくなる	濃くなる	緑がかる	くっきりした画像になる
－	明暗の差が、弱くなる	暗くなる	淡くなる	赤みがかる	柔らかな画像になる

決 定



ご注意
「AVプロ」で「ピクチャー」、「明るさ」、「色の濃さ」、「色あい」、「シャープネス」以外の項目を調整したいときは、選択－ボタンを押して▶を「標準」の下まで移動させてください。

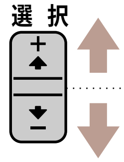
5 手順3と4を繰り返して、他の項目を調整する。

6 画質調整ボタンを押してメニューを消す。

お好みの音質に調整する

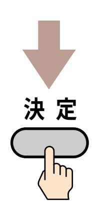
画質と同様、音質もお好みに合わせて調整し、「リビング」、「AVプロ」に記憶させることができます。画質調整ボタンのかわりに、**音質調整ボタン**を押すと、下記の項目が調整できます。

選 択



	高音	低音	バランス
＋	強くなる	強くなる	右側の音が強くなる
－	弱くなる	弱くなる	左側の音が強くなる

決 定



ご注意
「ダイナミック」または「スタンダード」にしてるときに音質調整ボタンを押すと、「リビング」の画／音モードに自動的に切り換わります。

衛星放送を録画する

テレビのBSチューナー☆を使って、衛星放送をビデオに録画することができます。
この場合、必ず「衛星放送を録画するための接続」を行ってください。
☞47ページ



見ながら録画する

1 **録画したい衛星放送の番組をテレビに映す。**



2 **ビデオデッキを操作する。**
ビデオデッキの入力切り換えを外部入力（またはライン入力）にし、録画を始めてください。

裏番組を録画するには

テレビ（VHF、UHF、CATV）やビデオを見ながら、衛星放送を録画することができます。このとき、録画している番組を誤って切り換えないよう、下記の操作を行ってください。

1 録画したい番組をテレビに映す。
2 BS録画固定ボタンを押す。

BSチューナー部のチャンネルと音声が固定されて、他のBSのチャンネルに切り換わらなくなります。
BS録画固定をしたあとは、リモコンでテレビを消しても、BSチューナー部は、BS録画固定をしてから48時間電源が入った状態になります。
BSの他のチャンネルを見るにはBS録画固定ボタンを再度押してください。BS録画固定が解除されます。

ご注意
BS録画固定の操作は衛星放送のチャンネルを選んでいるときにのみできます。

独立音声を録音するには
各種切換メニューから「TV／独立音声」を選んで「独立」にしてください（☞21ページ）。スクランブル☆放送のときは、デコーダー☆側で独立音声を選んでください。

☆の付いた用語は用語集をご覧ください。
☞54ページ。

つづく

衛星放送を録画する（つづき）

予約録画する

48時間以内の番組を簡単に予約録画することができます。

1 **録画したい衛星放送のチャンネルをテレビに映す。**



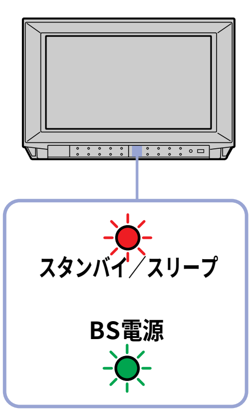
2 **ビデオデッキで録画を予約する。**

ビデオデッキの入力切り換えを外部入力（ライン入力）にしてください。

3 **BS録画固定ボタンを押す。**



4 **リモコンで電源を切る。**



BS電源ランプが点灯したままになります。

ご注意
- テレビ本体の電源スイッチでテレビを消すと録画できなくなります。
- スクランブル☆のかかった放送を録画するときは、デコーダー☆の電源を入れたままにしてください。

BS録画固定を解除するには

もう一度、リモコンで電源を入れた後衛星放送のチャンネルを選び、BS録画固定ボタンを再度押します。

ご注意
- BS録画固定をすると、BSのチャンネルは固定されます。
- BS録画固定ボタンを押してから、またはタイマーメニューの「BS録画固定」を「入」に設定してから、約48時間後にBS電源は自動的に切れます。

☆の付いた用語は用語集をご覧ください。☞54ページ。

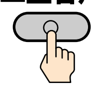
音声を切り換える



二重音声放送のときには、主音声、副音声、主音声＋副音声のいずれかを選ぶことができます。

二重音声ボタンを繰りかえし押して、選ぶ。

二重音声



「●主／副」を選んだとき



画面表示	左スピーカーの音声	右スピーカーの音声
●主	主音声	主音声
●副	副音声	副音声
●主／副	主音声	副音声

ご注意
2画面、親子画面のときは操作画面の音声が切り換わります。

VHF／UHFのステレオ放送で雑音が気になるときは

音声をモノラルにして雑音を軽減することができます。

1 本体の設定ボタンを押す。
2 選択＋／－ボタンを押して「初期設定」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／－ボタンを押して「オートステレオ」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／－ボタンを押して「切」にして決定ボタンを押す。
5 設定ボタンを押す。

「オートステレオ」を「切」にすると、VHF／UHFのすべてのチャンネルの音声がモノラルになります。ステレオでお聞きになるときは「オートステレオ」を「入」に戻してください。

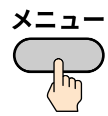
時計を使う



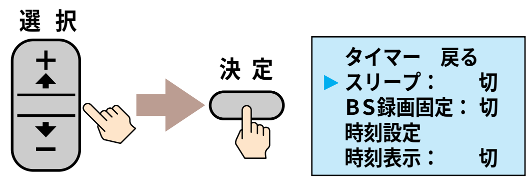
時計を表示する

昼の12時も夜の12時も0:00と表示されます。

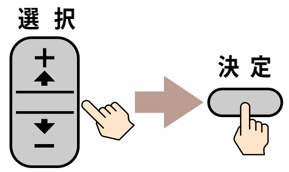
1 **メニューボタンを押す。**

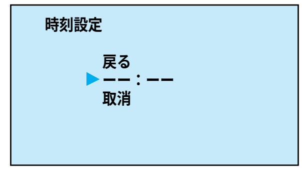


2 **選択＋／－ボタンを押して「タイマー」を選び、決定ボタンを押す。**

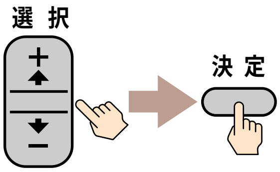


3 **選択＋／－ボタンを押して「時刻設定」を選び、決定ボタンを押す。**





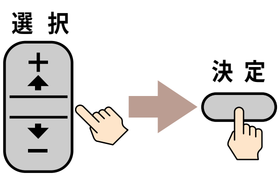
4 **▶が−−：−−の横にあることを確認して、決定ボタンを押す。**

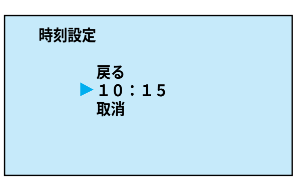




5 **時刻を設定する。**

時→分の順に設定します。選択＋／−ボタンを押して数字を送り、決定ボタンを押して、時刻を設定します。





6 **選択＋／−ボタンを押して「時刻表示」を選び、「入」にして、決定ボタンを押す。**

7 **メニューボタンを押してメニューを消す。**

時刻が表示されたままになります。

タイマーで電源を切る

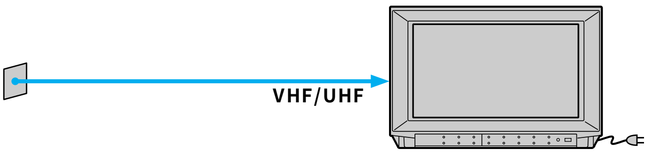
テレビをつけたままおやすみになっても、「スリープ」を「入」にしておけば約1時間後にテレビが消えます。

1 メニューボタンを押す。
2 選択＋／−ボタンを押して「タイマー」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／−ボタンを押して「スリープ」を選び、決定ボタンを押す
4 選択＋／−ボタンを押して、「入」を選び、決定ボタンを押す。本体のスタンバイ／スリープランプが点灯します。
5 メニューボタンを押してメニューを消す。

準備早わかり

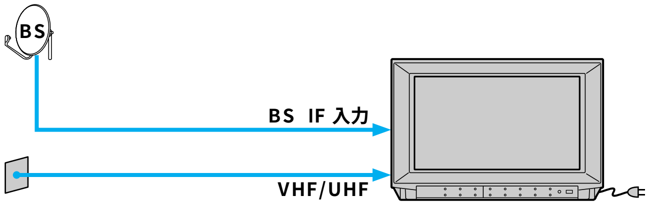
受信する放送の種類や接続する機器によって準備のしかたが異なります。
下の例を参考に準備をしてください。

テレビ



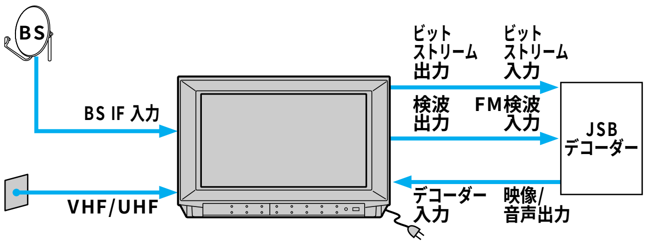
1 テレビアンテナをつなぐ☞32ページ
2 電源をつなぐ
3 テレビチャンネルを設定する☞34ページ

テレビ＋BS（ＮＨＫ衛星第1、第2）



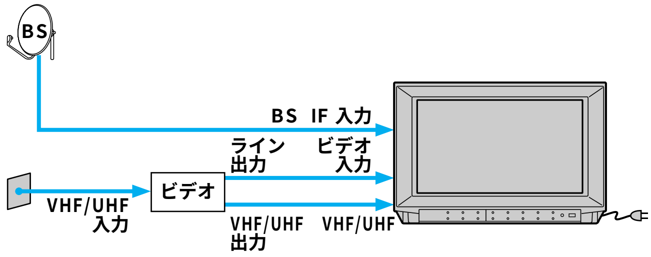
1 テレビアンテナをつなぐ☞32ページ
2 BSアンテナをつなぐ☞38ページ
3 電源をつなぐ
4 テレビチャンネルを設定する☞34ページ
5 BS受信の設定をする☞39ページ

テレビ＋有料BS（WOWOW、St.GIGA）



1 テレビアンテナをつなぐ☞32ページ
2 BSアンテナをつなぐ☞38ページ
3 JSBデコーダーをつなぐ☞41ページ
4 電源をつなぐ
5 テレビチャンネルを設定する☞34ページ
6 BS受信の設定をする☞39ページ
7 BSデコーダーを設定する☞42ページ

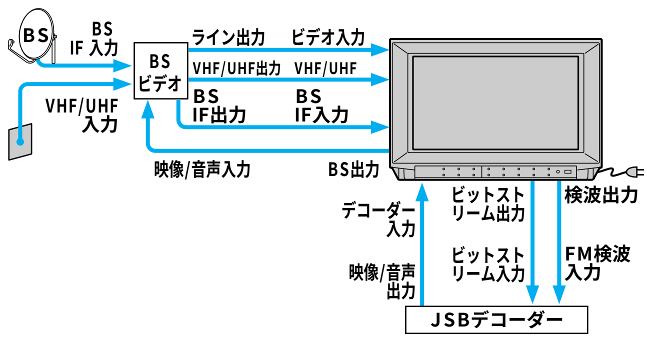
テレビ＋BS（NHK衛星第1、第2）＋ビデオ



1 テレビアンテナを、ビデオデッキを経由してテレビにつなぐ☞32、45ページおよびビデオデッキの取扱説明書
2 BSアンテナをテレビにつなぐ☞38ページ
3 ビデオデッキをテレビにつなぐ☞45ページ
4 電源をつなぐ
5 テレビチャンネルを設定する☞34ページ
6 BS受信の設定をする☞39ページ

衛星放送を録画する場合は、「衛星放送を録画するための接続」を行ってください。☞47ページ

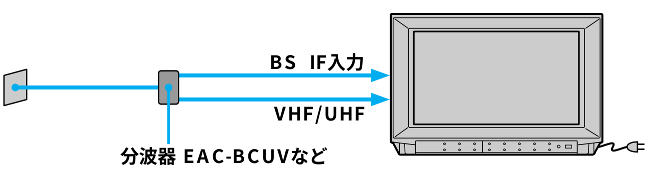
テレビ＋有料BS（WOWOW、St.GIGA）＋BSビデオ



1 テレビ／BSアンテナを、ビデオデッキを経由してテレビにつなぐ☞32、45ページおよびビデオデッキの取扱説明書
2 JSBデコーダーをテレビにつなぐ☞41ページ
3 ビデオデッキをテレビにつなぐ☞45ページ
4 電源をつなぐ
5 テレビチャンネルを設定する☞34ページ
6 BS受信の設定をする☞39ページ
7 BSデコーダーを設定する☞42ページ

マンションなどの共同受信システムの場合

マンションなどでは、部屋のアンテナ端子ひとつでテレビ、BSを受信できる場合があります。



1 分波器を使ってテレビ／BSアンテナをつなぐ☞38ページ
2 電源をつなぐ
3 テレビチャンネルを設定する☞34ページ
4 BS受信の設定をする☞39ページ

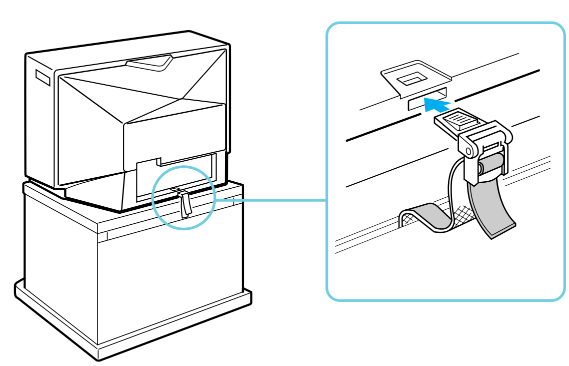
ケーブルテレビの場合

ケーブルシステムによって準備のしかたが異なりますので、ケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

テレビの転倒を防ぐために

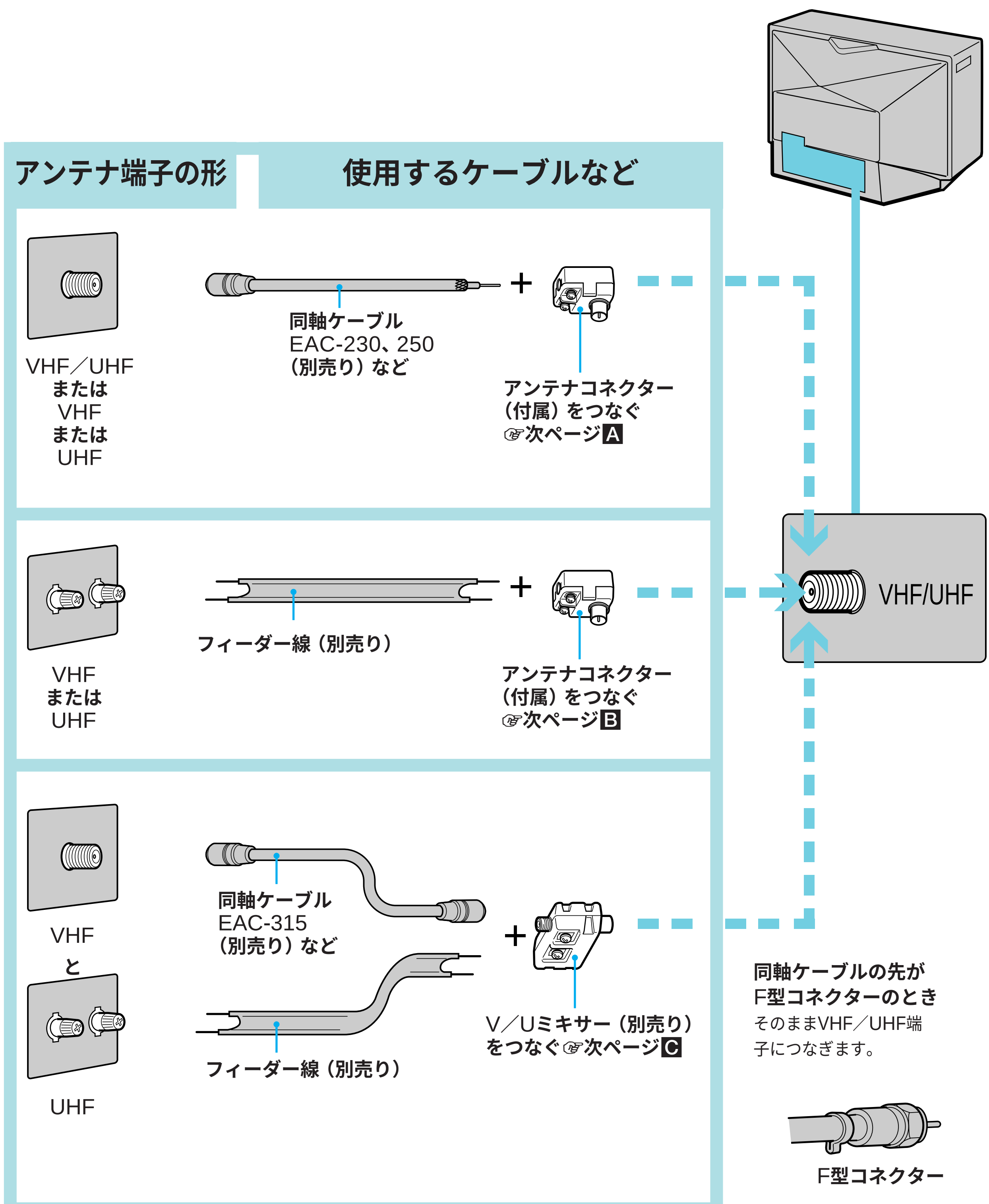
お子様がテレビに登ったり、押したりすると、テレビが倒れる恐れがあります。下記の別売り品を使用してテレビの転倒を防いでください。

- テレビラック固定ベルト　　BLT-R10
- テレビラック固定ベルト付属のテレビスタンド
  KV-28SF3：SU-28SF1、SU-28V
  KV-32SF7：SU-32F1、SU-32V



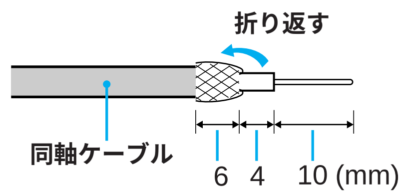
テレビアンテナをつなぐ

アンテナのつなぎかたは、部屋のアンテナ端子の形や使用するケーブルによって異なります。
下の例から最も近いものを選び、接続してください。
なお、いずれにも当てはまらない場合は、販売店などにご相談ください。

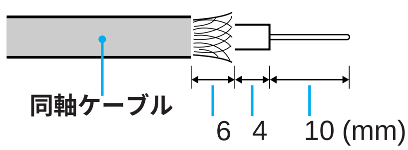


A 同軸ケーブルにアンテナコネクターをつなぐ

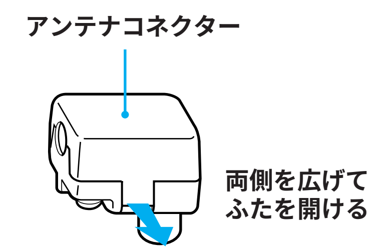
1 3C-2Vの場合



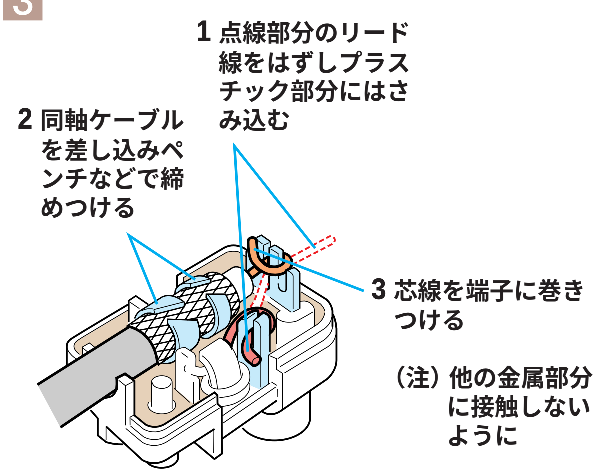
5C-2Vの場合



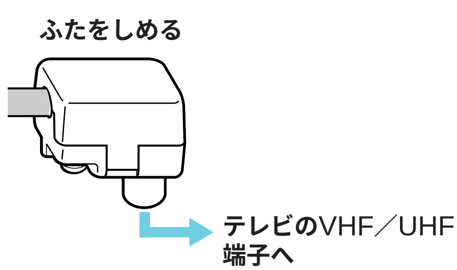
2



3

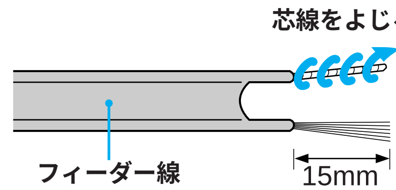


4

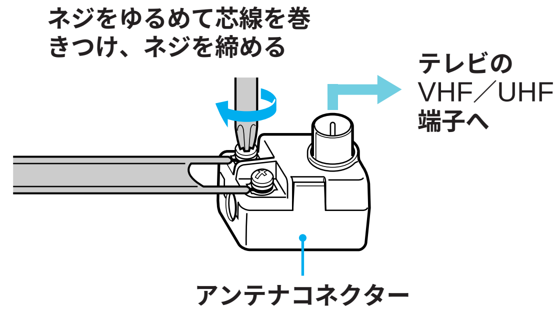


B フィーダー線にアンテナコネクターをつなぐ

1

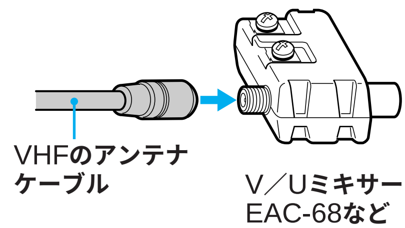


2

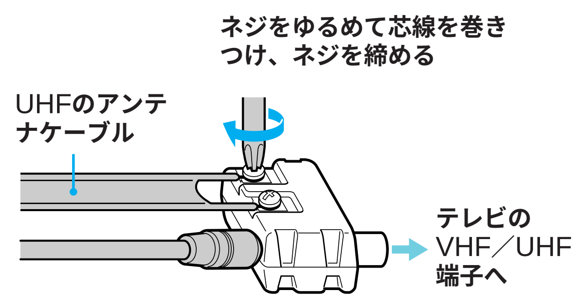


C V/Uミキサーをつなぐ

1

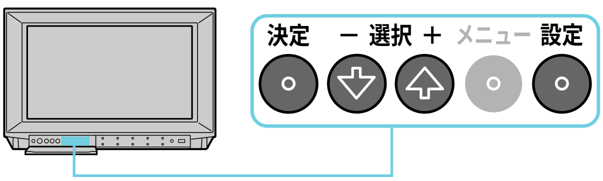


2



チャンネルを自動設定する

現在ご覧になれるVHF／UHFの放送を、①から⑫のチャンネルボタンに自動的に割り当てます。衛星放送は⑬から⑮のボタンにあらかじめ割り当ててありますので設定しなくてもご覧になれます。

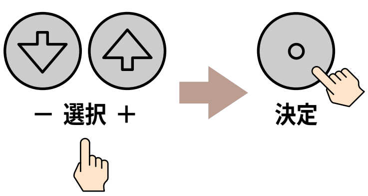


1 **設定ボタンを押す。**



▶設定　終了
テレビ設定
ＢＳ設定
初期設定

2 **選択＋／－ボタンを押して「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。**



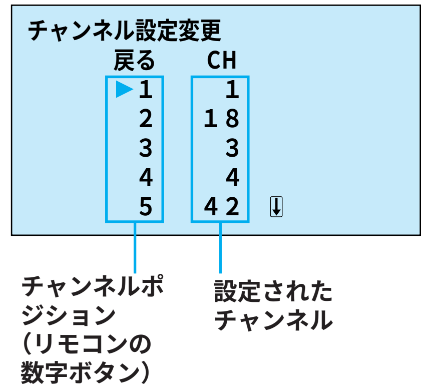
テレビ設定　戻る
▶自動ＣＨ設定：　入
チャンネル設定変更
チャンネル表示書換
バンド：　　UHF
選局：　ダイレクト

3 **「自動CH設定」が選ばれていて、「入」になっていることを確認して決定ボタンを2回押す。**



自動的に設定が始まります。

設定が終わると、下の画面に変わります。

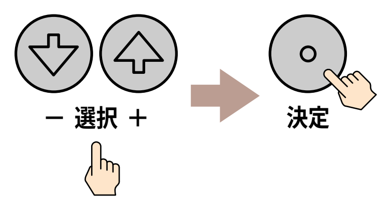


4 **設定されたチャンネルを確認し、必要があれば変更する。**

5より大きい番号を確認するには、▶を画面の下まで動かします。

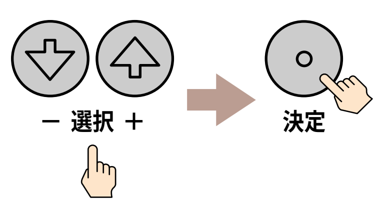
変更するには

1 選択＋／－ボタンを押して変更したい数字（リモコンの数字ボタン）を選び、決定ボタンを押す。



設定されたチャンネルが映ります。

2 選択＋／－ボタンを押して設定されたチャンネルを変更し、決定ボタンを押す。



3 手順1と2をくり返して、他のチャンネルを変更する。

5 **設定ボタンを押してメニューを消す。**

チャンネル設定を中断するには

「自動チャンネル設定実行中です」のメッセージが出ている間にメニューボタンを押す。

UHFのチャンネル番号について

地域によっては、実際のチャンネル番号で呼ばれず、通称のチャンネル番号で呼ばれていることがあります。新聞のテレビ欄などでお確かめください。

設定されたチャンネルを変更するには

1 設定ボタンを押す。
2 選択＋／ーボタンを押して「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／ーボタンを押して「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。
4 「チャンネルを自動設定する」の手順4に従って、チャンネルを変更する。
5 設定ボタンを押してメニューを消す。

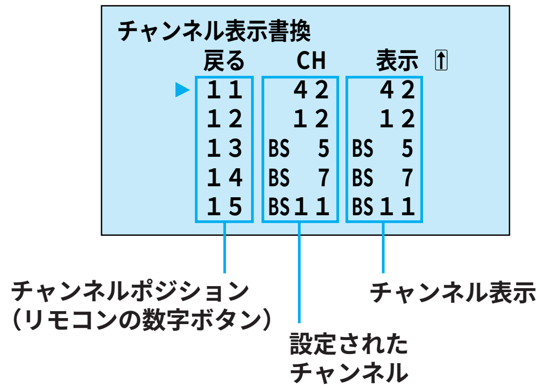
ケーブルテレビを見るには

ケーブルテレビはサービスの行われている地域のみで見ることができ、ケーブルテレビ放送会社との契約手続きが必要です。詳しくはケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

1 設定ボタンを押す。
2 選択＋／ーボタンを押して「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／ーボタンを押して「バンド」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／ーボタンを押して「CATV」を選び、決定ボタンを押す。
5 選択＋／ーボタンを押して「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。
6 「チャンネルを自動設定する」の手順4に従って、ケーブルテレビのチャンネルを設定する。
ケーブルチャンネルは、表示の前に「C」が付きます。
例：C24
7 設定ボタンを押してメニューを消す。

チャンネル表示を書き換えるには

1 設定ボタンを押す。
2 選択＋／ーボタンを押して「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／ーボタンを押して「チャンネル表示書換」を選び、決定ボタンを押す。



4 表示を書き換えたいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。
5 選択＋／ーボタンを押して、チャンネル表示を書き換え、決定ボタンを押す。
6 設定ボタンを押してメニューを消す。

ご注意

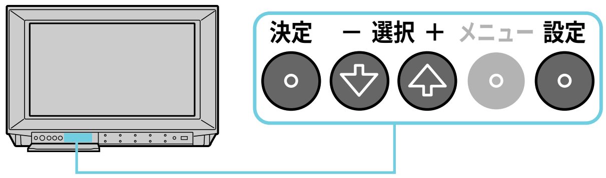
- 複数のチャンネルを一つのチャンネル表示にしたり、一つのチャンネルに複数のチャンネル表示をつけることはできますが、チャンネルと表示が1対1で対応する表示のつけかたをおすすめします。
- BSのチャンネル表示を変更することはできません。

放送のないチャンネルをとばすには

チャンネル＋／ーボタンを押したときや、チャンネルインデックスをしたときに、放送のないチャンネルや見ないチャンネルをとばす（選局しない）ように設定することができます。

1 「チャンネルを自動設定する」の手順4の1で、放送のないチャンネルや見ないチャンネルを選ぶ。
2 選択＋／ーボタンを押して、「CH」を「0」にする。
3 設定ボタンを押してメニューを消す。

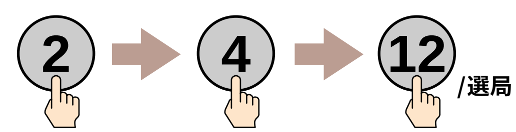
10キー選局にする



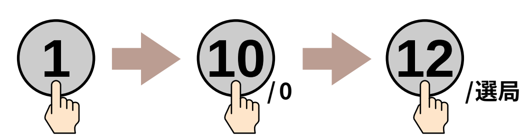
10キー選局とは

数字ボタンを押すと、通常は対応するチャンネルが映ります（「ダイレクト選局」）が、この方法で見られるチャンネルの数は15までです。見たいチャンネルの数が15を越えるときは「10キー選局」に切り換えてください。「10キー選局」にすると、リモコンの数字ボタンを組み合わせてお好きなチャンネルを選ぶことができます。

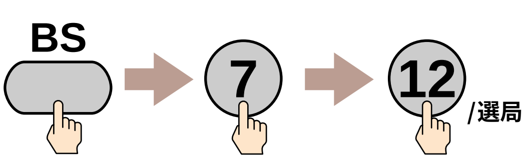
例）24チャンネル



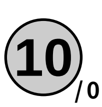
10チャンネル



BS7チャンネル



数字ボタンの10と12は以下の働きになります。



……0を入力する



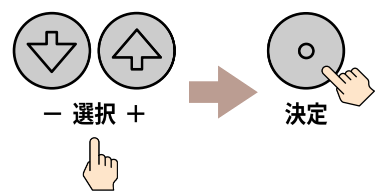
……選局ボタン

10キー選局に切り換える

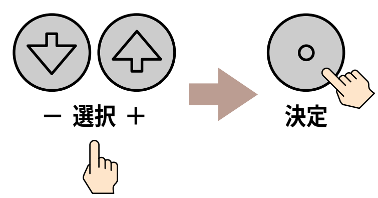
1 **設定ボタンを押す。**



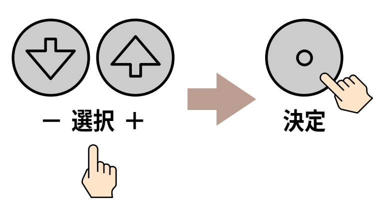
2 **選択＋／ーボタンを押して「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。**



3 **選択＋／ーボタンを押して「選局」を選び、決定ボタンを押す。**



4 **選択＋／ーボタンを押して「10キー」を選び、決定ボタンを押す。**



テレビ設定　戻る
自動ＣＨ設定：　入
チャンネル設定変更
チャンネル表示書換
バンド：　　　ＵＨＦ
▶選局：　　１０キー

5 **設定ボタンを押してメニューを消す。**

ダイレクト選局に戻すには
手順4で「ダイレクト」を選んでください。

「自動CH設定」を行うには
ダイレクト選局に戻してから行ってください。
「チャンネルを自動設定する」☞34ページ。

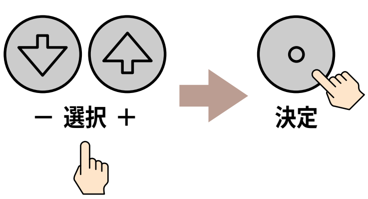
チャンネル＋／－ボタンで選べる局を設定する

お買い上げ時はチャンネル＋／－ボタンで、1～12チャンネルとBS5、BS7、BS11チャンネルを選ぶことができます。
これ以外のチャンネルを選ぶときや、放送のないチャンネルをとばしたいときは、次のように設定してください。

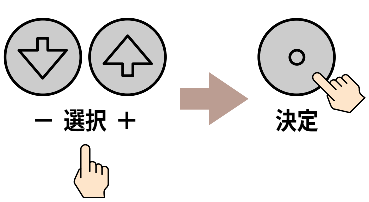
1 **設定ボタンを押す。**



2 **選択＋／－ボタンを押して「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。**

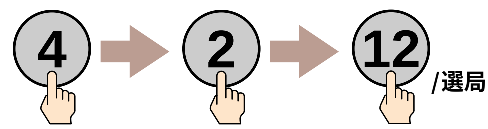


3 **選択＋／－ボタンを押して「 チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。**

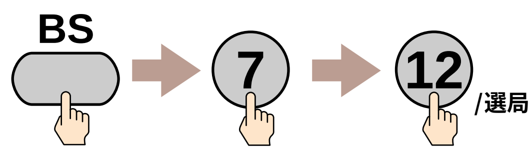


4 **見たいチャンネルまたはとばしたいチャンネルを選ぶ。**

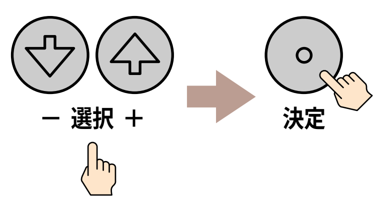
例） 42**チャンネルなら**

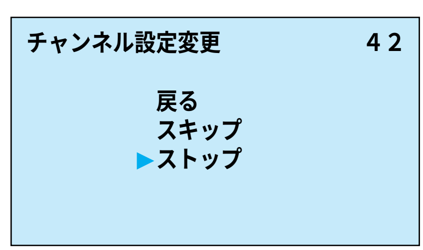


例） BS7**チャンネルなら**



5 **選択＋／－ボタンを押して、見たいチャンネルのときは「ストップ」を、とばしたいチャンネルのときは「スキップ」を選ぶ。**

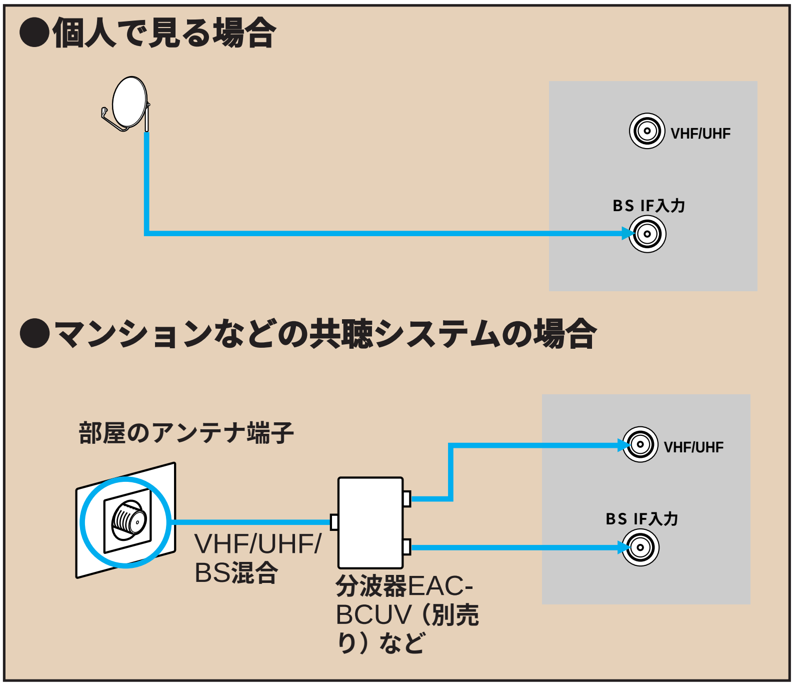




6 **複数のチャンネルを設定する場合は、手順**4**と**5**を繰り返す。**

7 **設定ボタンを押してメニューを消す。**

BSアンテナをつなぐ

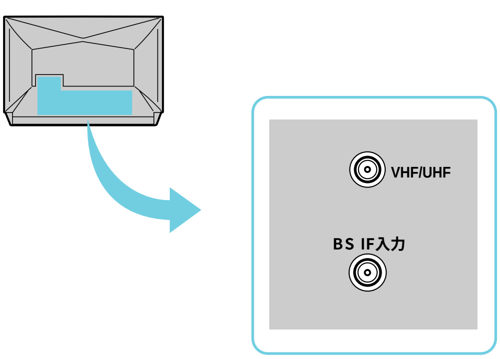


BS受信用の別売り商品

- BSアンテナ
  SAN-37J2
  SAN-37K2SET
  SAN-50HD2
- アンテナ取り付け金具
  ANJ-K1（壁面タイプ）
  ANJ-B1（ベランダタイプ）
- BS分配器
  EAC-BC2
  EAC-BC4
- BS/UV混合分波器
  EAC-BCUV
- BS用ブースター
  BO-BC20
- 同軸ケーブル
  SAK-C10 (10m)
  SAK-C20 (20m)
  SAK-C30 (30m)

アンテナ接続後は、「BS受信の設定をする」を行ってください。☞39ページ

●アンテナをつなぐ端子はテレビ裏面にあります



ご注意
- ケーブル、アンテナコネクターは、BS専用のものをお使いください。
- VHF／UHFのアンテナコネクターは、BS用には使わないでください。

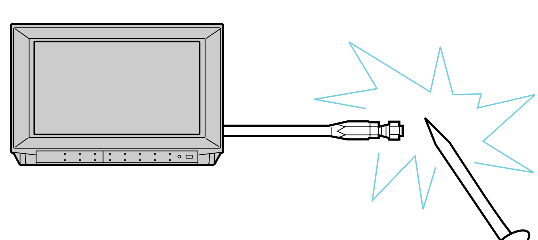


ご注意
BSアンテナケーブルをつなぐときは、工具を使わずに手でしっかりと締めてください。（工具を使うと、端子をいためることがあります。）

受信状態について
次のようなときは、BSを受信できなかったり、受信状態が悪かったりしますが、故障ではありません。
- 雷、豪雨、降雨、強風などの悪天候のとき
- アンテナに雪が付着しているとき
- 春分、秋分、日食など、太陽と地球と衛星が並んだとき（食のとき）
- 強風などで、アンテナの向きが変わったとき
  ☞40ページをご覧の上、アンテナを調整してください。

サテライト分配器についてのご注意
サテライト分配器をお使いになるときは、必ず、どの端子からもコンバーターに電源を供給するタイプ（ソニーEAC-BC2またはEAC-BC4など）をお使いください。
サテライト分配器には、特定の端子からのみコンバーターに電源を供給するタイプもありますが、このタイプを使用した場合、BSチューナー内蔵ビデオデッキでも、テレビの電源を入れないと衛星放送を録画できないなどの不都合が生じることがあります。

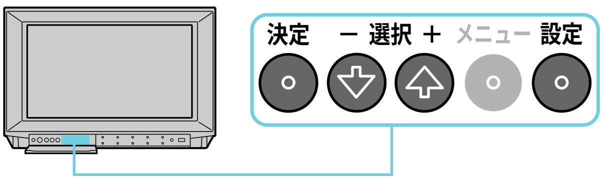
BSコンバーター電源についてのご注意
- BS IF入力端子はDC15Vが出ています。VHF、UHFのアンテナは絶対につながないでください。
- テレビ画面に「コンバーター電源を確認してください」という表示が出て、BS電源ランプが点滅しているときは、BSアンテナからのアンテナ線がショートしています。すぐにテレビ本体の電源を切り、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。



BS受信の設定をする

BSアンテナをつないだときは、必要に応じて「BS設定」をしてください。

BS電源を設定する

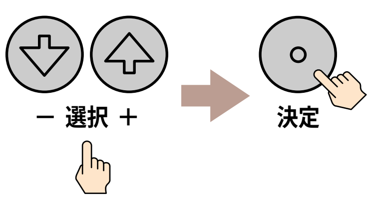


1 BSのチャンネルにする。

2 設定ボタンを押す。

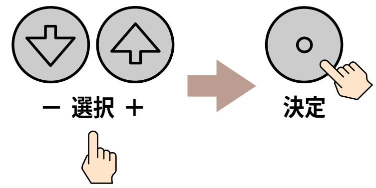


3 選択＋／−ボタンを押して「BS設定」を選び、決定ボタンを押す。



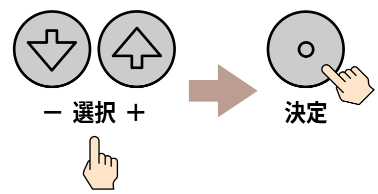
BSのときのみ選択できます。

4 選択＋／−ボタンを押して「BS電源」を選び、決定ボタンを押す。



BS設定　戻る
アンテナレベル
デコーダー入力切換
▶ BS電源：　　オート

5 選択＋／−ボタンを押してアンテナのつなぎかたに合わせた設定に切り換え、決定ボタンを押す。



BS設定　戻る
アンテナレベル
デコーダー入力切換
▶ BS電源：　　連動

設定	内容
●オート	BSコンバーターへの電源の供給を、テレビが自動的に判断して行います。
切	BSコンバーターへの電源は供給されません。マンションなどの共聴システムのとき、選んでください。
連動	テレビがついているとき、BSコンバーターへ電源を供給します。個別アンテナでBSの映像が映ったり消えたりするときに選んでください。

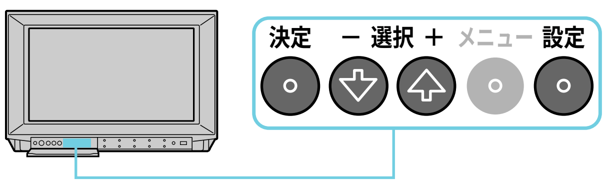
（●は、お買い上げ時の設定を示します。）

6 設定ボタンを押してメニューを消す。

つづく

アンテナの角度を調整する

BSアンテナに直接つないだときは、アンテナの方向と角度を調整する必要があります。最良の調整ができるように、テレビの画面上の数字や音で確かめられるようになっています。

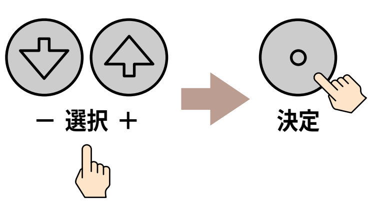


1 **放送のあるBSのチャンネルを選ぶ。**

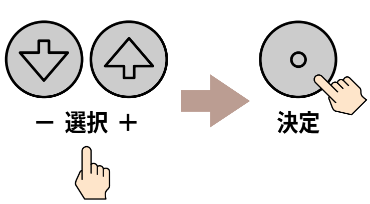
2 **設定ボタンを押す。**



3 **選択＋／−ボタンを押して「BS設定」を選び、決定ボタンを押す。**

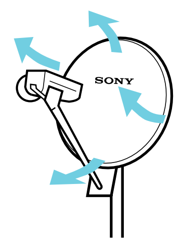


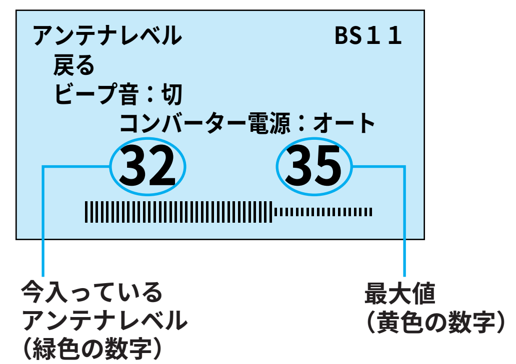
4 **選択＋／−ボタンを押して「アンテナレベル」を選び、決定ボタンを押す。**



5 **アンテナを調整する。**

アンテナレベル☆の数値が最大になるように、アンテナの方向・角度を調整します。





「コンバーター電源」が「切」になっているときは、「BS電源」を「オート」または「連動」に設定してください。☞39ページ

6 **調整が終わったら、設定ボタンを押してメニューを消す。**

音を聞いて調整するには

テレビ画面で確認できないときに便利です。

1 手順4のあと、選択＋／−ボタンを押して「ビープ音」を選び、決定ボタンを押す。

2 選択＋／−ボタンを押して「入」を選び、決定ボタンを押す。

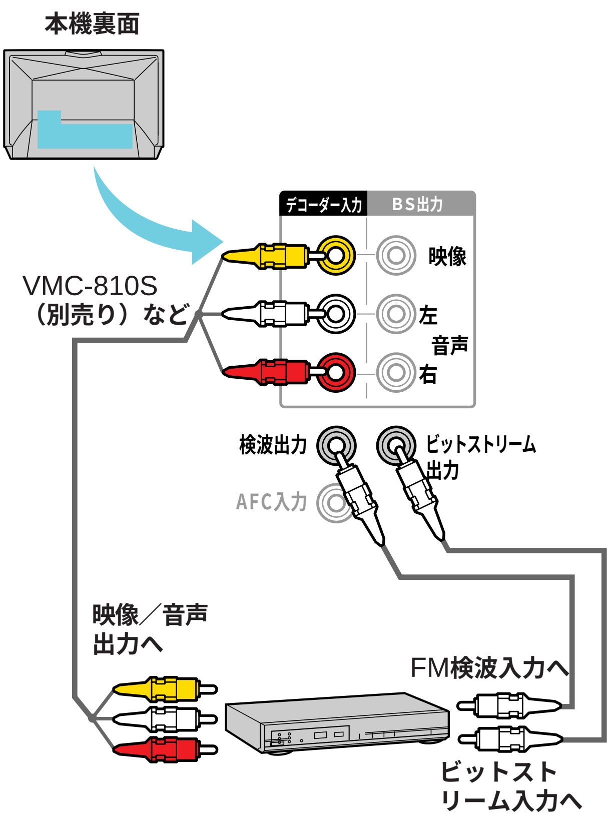
3 手順5で連続した最高音になるようアンテナを調整する。緑色の数値が大きいほど、高音になります。

☆のついた用語は用語集をご覧ください。☞54ページ

BSデコーダーをつなぐ

有料の衛星放送を見るためには、デコーダー☆をつなぐ必要があります。詳しくはBSの放送会社にお問い合わせください。お買い上げ時は、スクランブル☆のかかった放送を受信すると、接続したBSデコーダーを通してスクランブルを解除するように設定されています。（デコーダー入力への自動切り換え機能）

JSBデコーダー（WOWOW/St.GIGA）



デコーダーのスイッチの設定

BSデコーダーの「検波／映像」切り換えスイッチを「検波」にしてください。

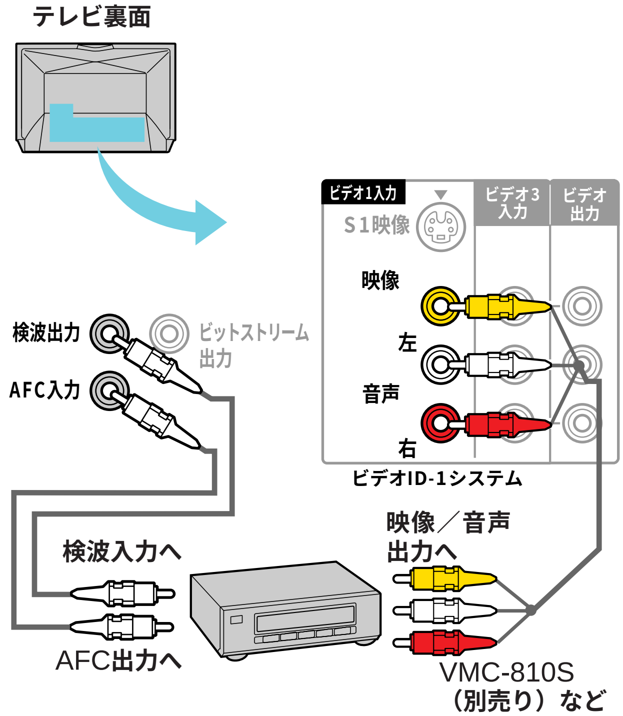
独立音声放送用デコーダーを接続する場合

デコーダー入力の音声端子のみ接続してください。

ご注意

BSデコーダーは必ず、デコーダー入力端子に接続してください。デコーダー入力端子に接続しないと、デコーダー入力へ自動的に切り換わりません。

MUSE-NTSCコンバーター☆（ハイビジョン）



ハイビジョン放送を見るときはハイビジョンのチャンネルにしてからMUSE-NTSCコンバーターを接続した入力（「ビデオ1」または「ビデオ2」、「ビデオ3」）に切り換えてください。

デコーダー入力端子が空いている場合

ビデオ入力ではなくデコーダー入力端子に接続し、メニューの「デコーダー入力切換」で「BS9」の設定を「デコーダー」にしておけば、BS9チャンネルを選ぶだけで見ることができます。この場合、スクランブルのかかった放送（1997年5月現在、BS5チャンネル）は「デコーダー入力切換」を「テレビ」にしてください。☞42ページ

☆のついた用語は用語集をご覧ください。☞54ページ

BSデコーダーをつなぐ（つづき）

デコーダーを設定する

お買い上げ時は、全てのBSチャンネルは「オート」に設定されていますので、設定しなおす必要はありません。設定を変更する場合は下記の手順で操作してください。

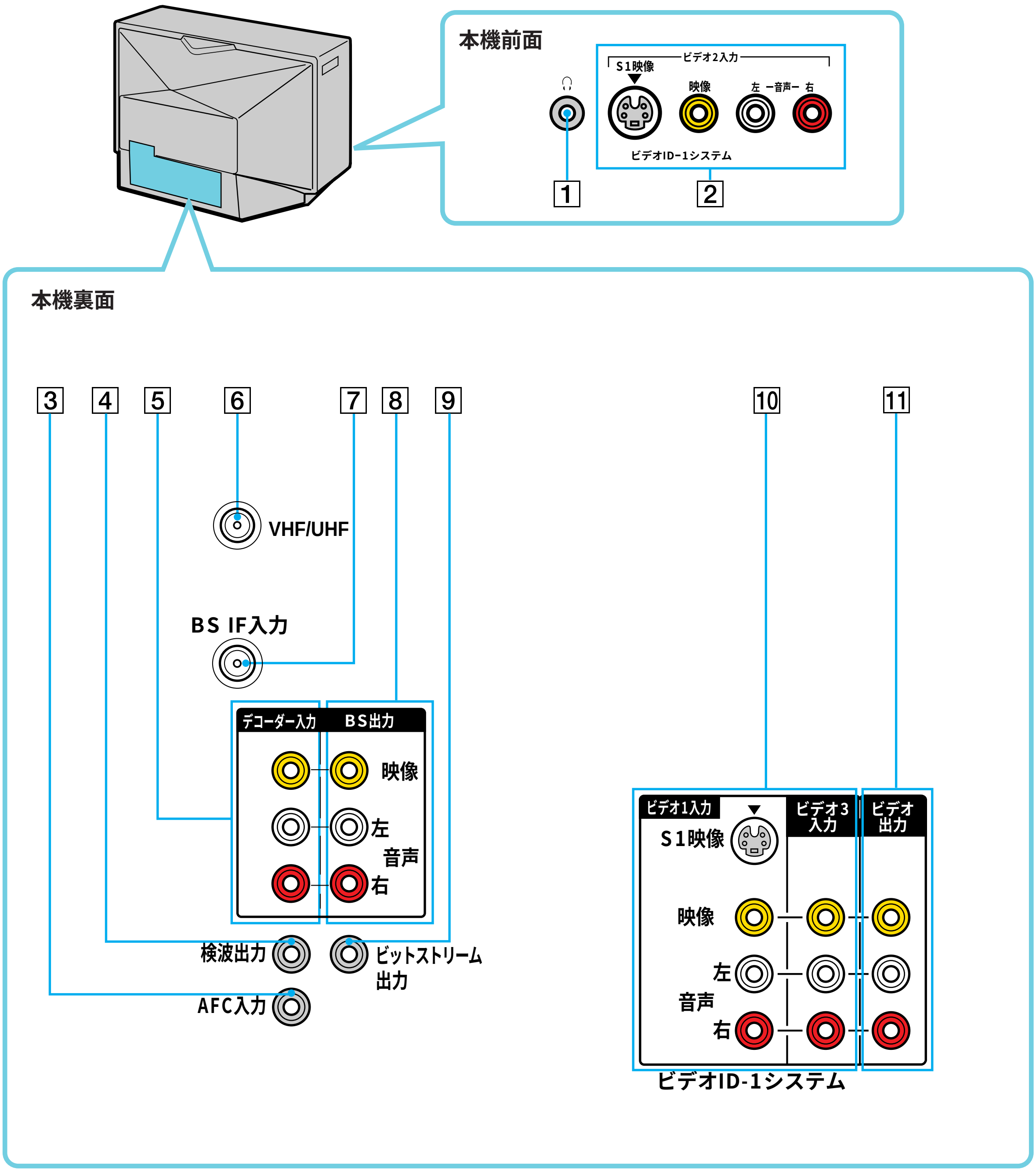
1 BSのチャンネルにする。
2 設定ボタンを押す。
3 選択＋／ーボタンを押して「BS設定」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／ーボタンを押して「デコーダー入力切換」を選び、決定ボタンを押す。
5 選択＋／ーボタンを押してチャンネルを選び、決定ボタンを押す。
BS9〜15を設定したいときは、▶をBS7より下に移動します。
6 選択＋／ーボタンを押して「テレビ」、「デコーダー」、「オート」の設定の中から選び、決定ボタンを押す。

設定	内容
オート	BSのスクランブル☆を自動判別
テレビ	受信した映像・音声をそのまま映す
デコーダー	デコーダー入力端子からの映像・音声を映す

7 手順5〜6を繰り返して、入力を変えたいチャンネルを1つずつ設定する。
8 設定ボタンを押してメニューを消す。

☆の付いた用語は用語集をご覧ください。☞54ページ。

接続端子について



本機前面
ビデオ2入力
S1映像
映像
左
音声
右
ビデオID-1システム
1
2
本機裏面
3
4
5
6
7
8
9
10
11
VHF/UHF
BS IF入力
デコーダー入力
BS出力
映像
左
音声
右
検波出力
ビットストリーム
出力
AFC入力
ビデオ1入力
S1映像
ビデオ3
入力
ビデオ
出力
映像
左
音声
右
ビデオID-1システム

接続端子について（つづき）

☞のページに詳しい説明があります。

1 **ヘッドホン端子☞13ページ**
ヘッドホンをつなぎます。

2 **ビデオ2入力（ID-1☆）（S1映像☆／映像／音声）端子☞48ページ**
ゲームやビデオカメラレコーダーなどをつなぎます。

3 **AFC入力端子☞41ページ**
MUSE-NTSCコンバーターなどハイビジョン機器のAFC出力端子とつなぎます。

4 **検波☆出力端子☞41ページ**
BSデコーダーのFM検波入力端子とつなぎます。

5 **デコーダー☆入力（映像／音声）端子☞41ページ**
BSデコーダーの映像／音声出力端子とつなぎます。

6 **VHF／UHFアンテナ端子☞32、33ページ**
VHF／UHFアンテナ、またはケーブルテレビのケーブルをつなぎます。

7 **BS IF入力端子☞38ページ**
BSアンテナからのケーブルをつなぎます。（これ以外のものはつながないでください）この端子から、BSコンバーター用電源（DC15V）を供給することができます。

8 **BS出力（映像／音声）端子☞47ページ**
ビデオデッキなどをつなぎます。受信しているBSの信号が常に出力されています。また、デコーダーが接続されているときは、スクランブル☆を解除した信号が出力されています。

9 **ビットストリーム☆出力端子☞41ページ**
BSデコーダーのビットストリーム入力端子とつなぎます。また、その他の新放送システムに対応するために用意されています。

10 **ビデオ1、3入力（ID-1☆）（S1映像☆（ビデオ1入力のみ）／映像／音声）端子☞45、47ページ**
ビデオデッキやレーザーディスクプレーヤーなどのビデオ機器をつなぎます。
つないだ機器からの映像／音声を映すことができます。

11 **ビデオ出力（映像／音声）端子☞47ページ**
ビデオデッキをつなぎます。
映像や音声を記録することができます。

ご注意
テレビに映っている映像、音声の信号を出力しますが、二画面（☞11ページ）、チャンネルインデックス（☞15ページ）、ストロボ（☞18ページ）時はメインとなる画面の信号のみ出力されます。

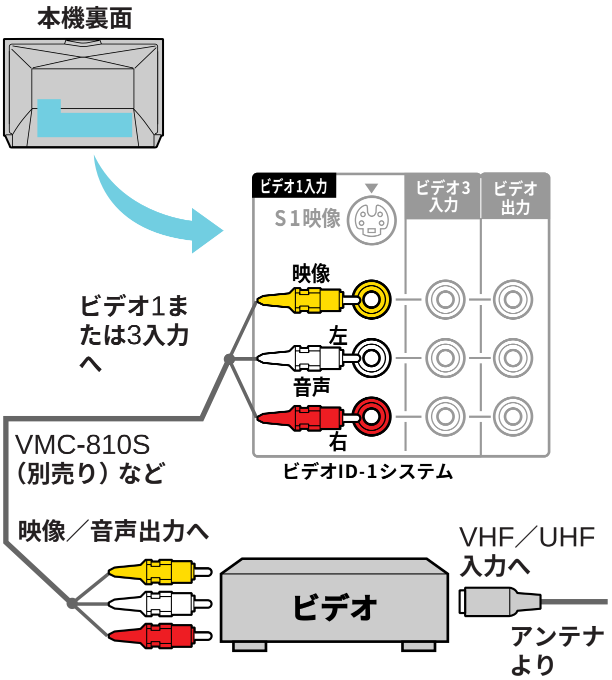
☆のついた用語は用語集ご覧ください。☞54ページ

ビデオデッキをつなぐ

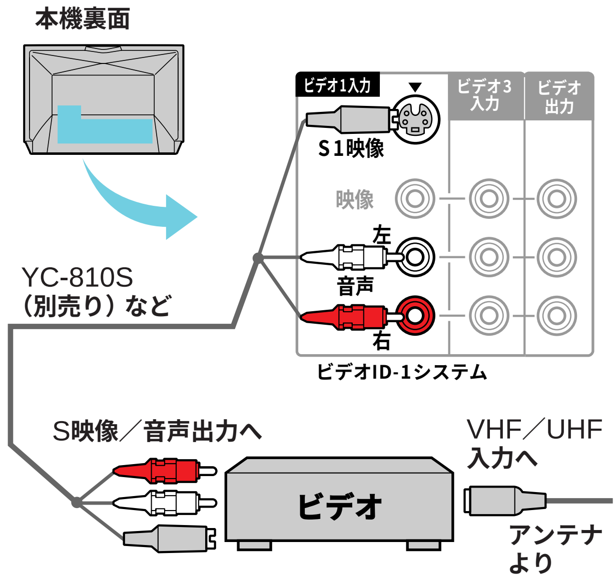
ビデオデッキの使用目的によって接続のしかたが異なります。目的に合ったつなぎかたを選んでください。アンテナのつなぎかたは、「準備早わかり」(☞30ページ) およびビデオデッキの取扱説明書などをご覧ください。

基本の接続

S映像端子のないビデオデッキ



S映像端子付きビデオデッキ



つづく

S1映像☆端子と映像端子の使い分けかた

接続する機器によって、S1映像端子どうしの接続がよいものと、映像端子どうしの方がよいものとがあります。下表を参考にして、よりよい画像でお楽しみください。

接続する機器	おすすめする端子
テレビチューナー BSチューナー／CSチューナー	映像
レーザーディスクプレーヤー ＊1	映像
ビデオデッキ ＊2 ビデオカメラの再生	S1映像
DVDプレーヤー	S1映像
MUSE-NTSCコンバーター☆	S1映像
ゲーム機	S1映像

＊1 三次元Y/C分離回路☆搭載のレーザーディスクプレーヤーの場合は、接続の違いによる画質の差はほとんど生じません。
再生モードにはデジタルを使わず、ノーマルで再生してください。

＊2 TBC（タイムベースコレクター）内蔵のビデオデッキでNTSC標準信号化できる場合も原則としてS1映像端子をおすすめします。

- S映像端子のない機器の場合は、映像端子をお使いください。

S1映像☆／映像の切り換え

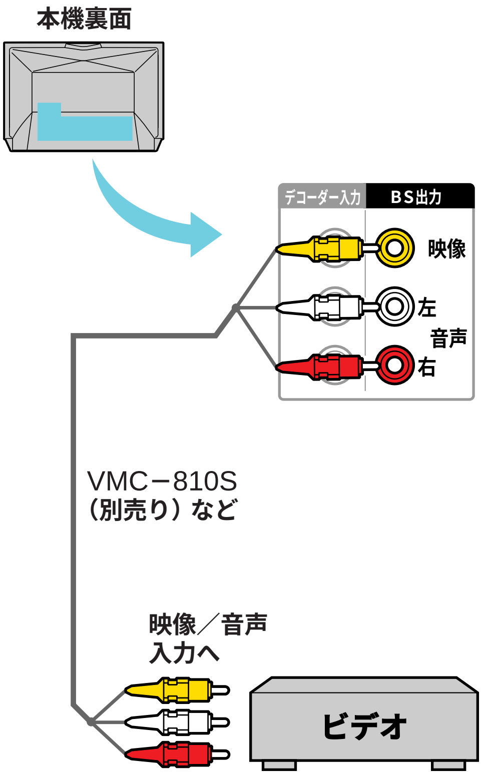
S1映像端子と映像端子を同時に接続すると、S1映像端子につないだ機器の画像が優先されて映ります。映像端子につないだ機器の画像を見るときは、下の手順に従って「S映像」を「切」にしてください。

1 入力切換ボタンを押して設定したいビデオ入力を選ぶ。
2 メニューボタンを押す。
3 選択＋／－ボタンを押して「各種切換」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／－ボタンを押して「S映像」を選び、決定ボタンを押す。
5 選択＋／－ボタンを押して「切」を選び、決定ボタンを押す。
6 メニューボタンを押してメニューを消す。

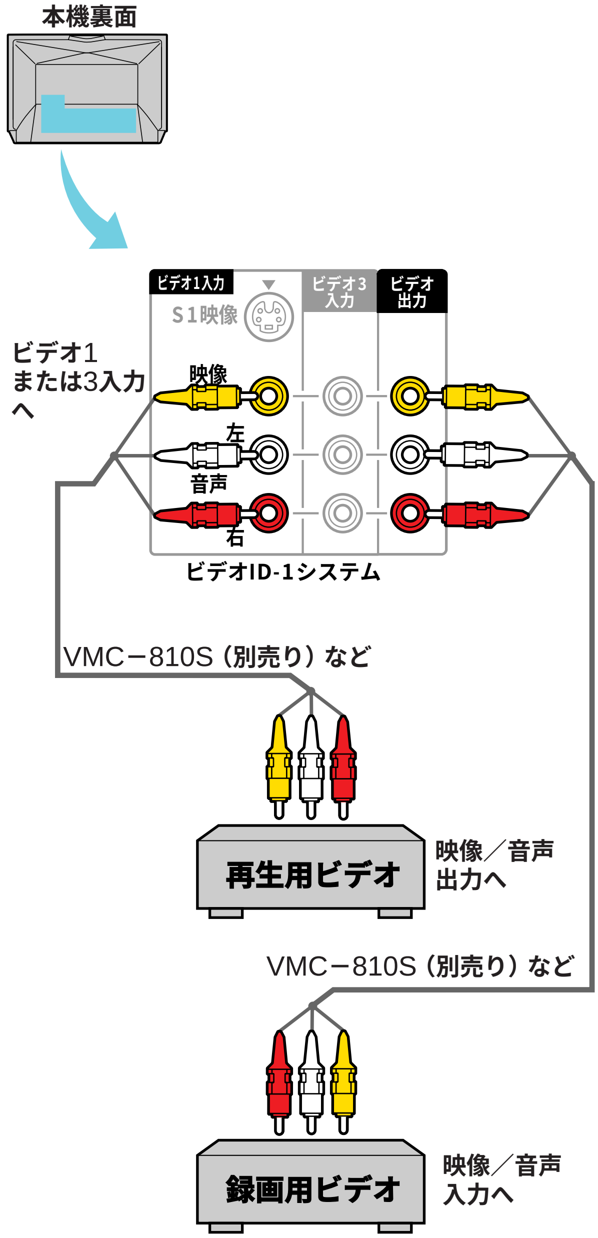
☆のついた用語は用語集をご覧ください。☞54ページ

衛星放送を録画するための接続

テレビのチューナー☆を使ってBSを録画する場合は、下のようにつないでください。



編集するときの接続



ご注意

1台のビデオ機器に、本機からの出力と入力の両方の端子を同時に接続しないでください。画像が乱れることがあります。

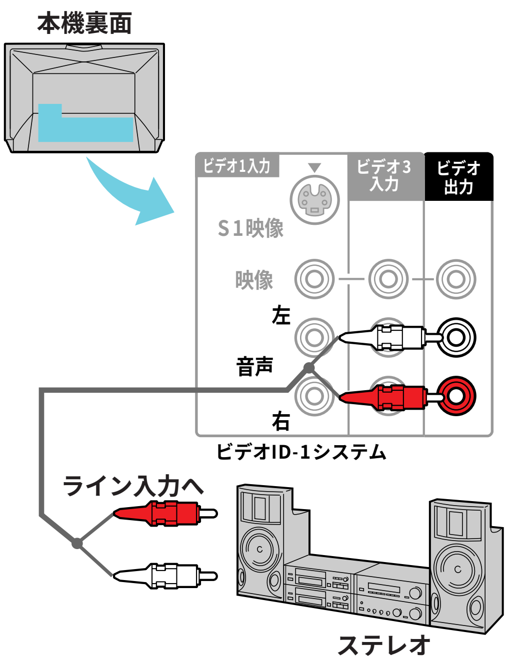
☆のついた用語は用語集をご覧ください。☞54ページ

準備編

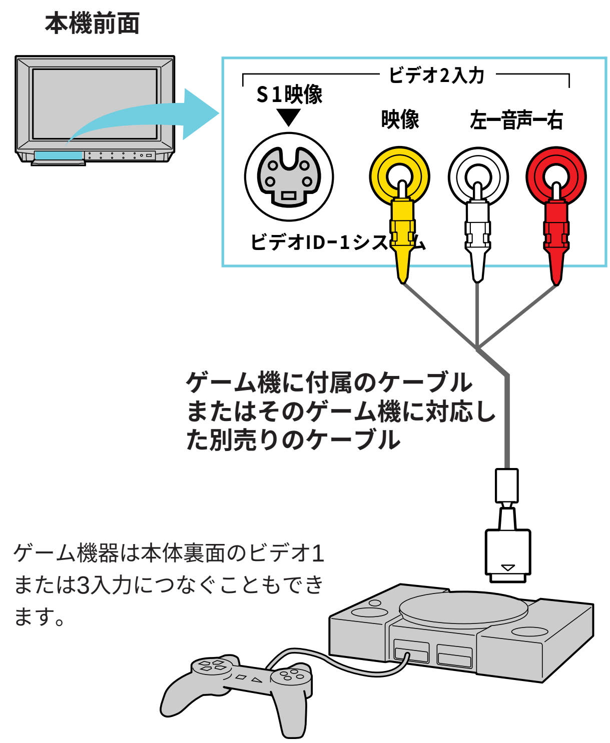
その他の機器をつなぐ

ステレオシステムをつなぐ

オーディオ機器を接続するには、ビデオ出力の音声端子を使います。

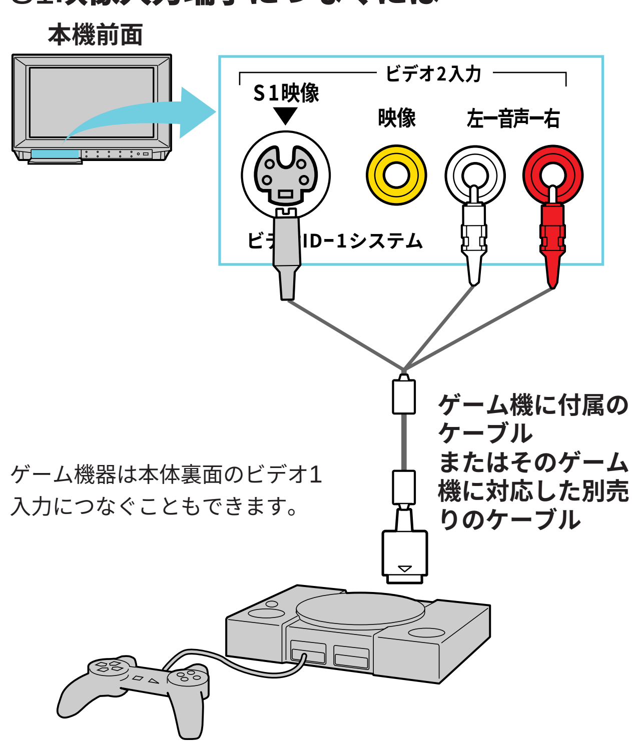


ゲーム機をつなぐ



ゲーム機器は本体裏面のビデオ1または3入力につなぐこともできます。

S1映像入力端子につなぐには

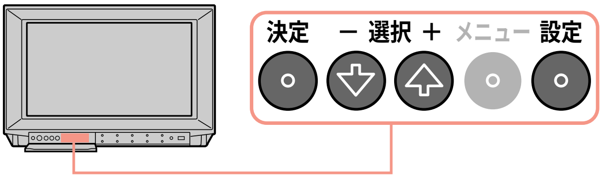


ゲーム機器は本体裏面のビデオ1入力につなぐこともできます。

ご注意

ケーブルについて詳しくは、ゲーム機をお買い上げになったお店にご相談ください。

地磁気による画像の傾きを補正する



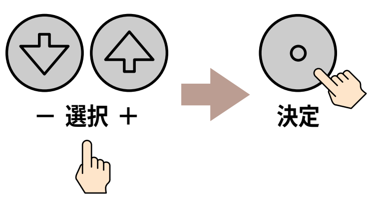
設置後、テレビの向きを決めたら、方角補正をしてください。地磁気の影響がなくなり、よりよい画面をお楽しみいただけます。

1 **設定ボタンを押す**

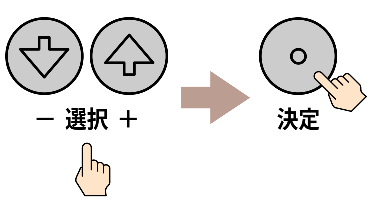


設定　終了
テレビ設定
ＢＳ設定
▶初期設定

2 **選択＋／－ボタンを押して「初期設定」を選び、決定ボタンを押す。**



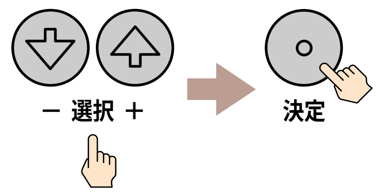
3 **選択＋／－ボタンを押して「方角補正」を選び、決定ボタンを押す。**



初期設定　戻る
インデックス画面：13画面
▶方角補正：　0
オートステレオ：　入

4 **選択＋／－ボタンを押して調整する。**

画像を見ながら画面内の水平線がいちばん水平になるように調整します。
数値は－3～＋3の範囲で変わります。



5 **設定ボタンを押してメニューを消す。**

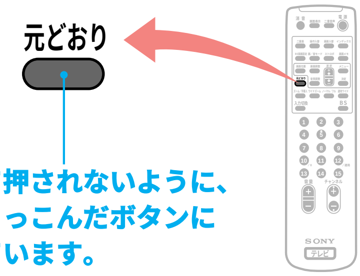
ご注意

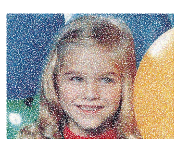
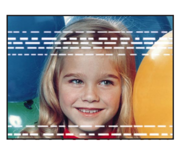
- 高圧線の近くや鉄筋コンクリート造りの家などでは、うまく補正されないことがありますので、お買い上げ店にご相談ください。
- テレビの近くに大きなスピーカーがあると、うまく補正されません。スピーカーから離して設置してください。

故障かな？と思ったら

下記の項目のほかになんらかの異常がある場合、リモコンの元どおりボタンを押してみてください。右記項目は、テレビがお買い上げ時の状態に戻ります。画／音モードは、「スタンダード」になります。

- 二重音声
- 時計表示
- 2画面モードなど



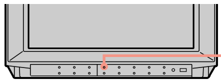
テレビが映らない／またはスタンバイ／スリープランプが点滅している	■スタンバイ／スリープランプが点滅していたら、次ページの「自己診断表示」をご覧ください。 ■電源コードが外れていませんか？ ■テレビ本体の電源は入っていますか？
画像は出るが、音が出ない 	■音量が下がりきっていませんか？ ■画面に「消音」の表示が出ていませんか？ ■ヘッドホンをつないでいませんか？
色がつかない、色がおかしい、画面が暗い	■画／音モードボタンを押してください。（☞22ページ） ■画質調整ボタンを押して調整してください。（☞23ページ）
画像が二重、三重になる 	■アンテナ線がはずれかかっていませんか？山やビルで反射した電波がアンテナに飛び込み、画像が二重、三重になることがあります。 ■アンテナの位置、方向、角度を調整してください。 ■突然画像が二重、三重になった場合は、お買い上げ店などにご相談ください。
雪が降るような画面、うすい画面、風がふくとちらつく 	■アンテナが風でこわれたり曲がったりしていませんか？ ■アンテナの寿命ではありませんか？通常3〜5年、海辺では1〜2年です。 ■アンテナ線がはずれていませんか？
斑点や点模様が走る 	■ヘアードライヤー、自動車、バイクなどからの雑音電波が原因です。アンテナはなるべく道路から離してください。
画像が傾く	■本体の設定ボタンで「方角補正」を選び調整してください。（☞49ページ）
特定のチャンネルだけが映らない	■チャンネルを合わせ直してみてください。（☞34ページ）
雑音が多い	■フィーダー線を使用していませんか？ ■メニューで「オートステレオ：切」にしてください。（☞27ページ）
リモコンの数字ボタンを押してもチャンネルが選べない	**ダイレクト選局の場合（☞36ページ）** ■ダイレクト／10キー選局が「ダイレクト」になっていますか？ **10キー選局の場合（☞36ページ）** ■ダイレクト／10キー選局が「10キー」になっていますか？ ■11チャンネルは①を2回、12チャンネルは①と②を続けて押しましたか？ ■最後に続けて⑫／選局を押しましたか？（スタンバイ／スリープランプ点灯中にチャンネル数字ボタンを押したときはチャンネル数字ボタンに続けて⑫／選局ボタンを押さないと、前回テレビを消したときのチャンネルが映ります。） **その他** ■リモコンの電池が消耗していませんか？
キャビネットから「ピシッ」というきしみ音が出る	■周囲の温度変化でキャビネットが伸縮するときに「ピシッ」という音が出ることがあります。故障ではありません。

電源を入れたときにブーンという音がする	■地磁気などの影響を取り除くために動作させる消磁回路の動作音です。故障ではありません。
テレビの電源を切った直後に、テレビの後ろからパチパチ音がする	■テレビ内部で発生する静電気が原因です。故障ではありません。
BS（衛星放送）が映らない／乱れている	**BSアンテナを直接つないでいる場合** ■メニューで「BS電源：オート」または「BS電源：連動」にしていますか？（☞39ページ） ■BSケーブルのコンバーター側は防水になっていますか？ ■アンテナの大きさは適切ですか？ ■アンテナの前方に障害物はありませんか？ ■アンテナの方向・角度を調整しましたか？（☞40ページ） **BSアンテナに分配器を使っている場合** ■コンバーター用電源を供給する機器のスイッチが「入」側になっていますか？ **マンションなどの共聴システムの場合** ■メニューで「BS電源：オート」または「BS電源：切」にしていますか？（☞39ページ） ■VHF/UHFとBSが一本のケーブルになっている場合、分波器を使っていますか？（☞38ページ） ■ケーブルの芯線は、コネクターに正しく入っていますか？ **その他** ■放送時間を確認してください。 ■雨や雪が降ると悪くなることがあります。 ■BS専用のケーブルを使っていますか？（☞38ページ） ■アンテナコネクター（バルーン）を使っていませんか？ ■メニューの「デコーダー入力切換」を切り換えていませんか？（☞42ページ）
BS（衛星放送）の画像は出るが音が出ない	■スクランブル☆放送ではありませんか？
BS（衛星放送）のチャンネルが切り換わらない	■BS録画固定にしていませんか？（☞26ページ）
「コンバーター電源を確認してください」という文字がでたら	■テレビ裏面のBS IF入力につないだアンテナ線がショートしています。電源を切って、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。
ビデオを再生したとき画像が出ない	■S映像入力なのに、「S映像：切」にしていませんか？（☞46ページ）
つないだ機器の画像、音が出ない	■接続コードが外れていませんか？ ■リモコンの入力切換ボタンを押してみてください。

☆のついた用語は用語集をご覧ください。☞54ページ

自己診断表示 －画面が消え、スタンバイ／スリープランプが点滅したら

本機には自己診断機能がついています。これは本機に異常が起きたときに、スタンバイ／スリープランプの点滅およびその回数でテレビの状態をお知らせし、よりスムーズにサービス対応させていただくための機能です。スタンバイ／スリープランプが点滅したら、右の手順にそって、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



1. スタンバイ／スリープランプの点滅回数を数えてください。3秒おきに点滅します。たとえば、2回点滅→3秒あき→2回点滅…この場合の点滅回数は2回です。
2. テレビの電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に点滅回数をお知らせください。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げの店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。ただし、ブラウン管代およびブラウン管の交換にともなう技術料、出張料は2年間無料です。

アフターサービスについて

調子が悪いときはまずチェックを

➡「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときはサービス窓口へ

➡お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

➡保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

➡修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、カラーテレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。
保有期間が経過した後でも、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。
なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導によるものです。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名：KV-28SF3、KV-32SF7
故障の状態：できるだけくわしく
購入年月日：

お買い上げ店 **TEL.**
お近くのサービスステーション **TEL.**

This television is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

ブラウン管表面のお手入れについて

本機のブラウン管表面には特殊な処理が施されています。そのため、ブラウン管表面が汚れているときは、市販のガラスクリーナーまたは水で薄めた中性洗剤を、柔らかい布に含ませて、拭き取ってください。

固い布は、表面を傷つけることがあるため、使わないでください。また、塩素系や塩酸などの酸性洗浄液や、クレンザーや歯磨粉など研磨剤入りの洗浄剤も、使わないでください。

主な仕様

システム

受信方式	NTSC方式
受信チャンネル	VHF 1〜12チャンネル UHF 13〜62チャンネル CATV C13〜C35 BS1、3、5、7、9、11、13、15
ブラウン管*	FDトリニトロン、 102度偏向28型 102度偏向32型

＊テレビの型（28型など）は画面寸法を表すものではなく、ブラウン管の外径対角寸法を基準とした大きさの目安です。

画面寸法	KV-28SF3：57.5×32.4、66cm KV-32SF7：66.2×37.3、76cm
使用スピーカー	KV-28SF3：8cm×2 KV-32SF7：ウーファー10cm×2、ミッドハイレンジスピーカー（5×9cm楕円）×2

入出力端子

アンテナ端子	VHF／UHF、BS IF 75Ω F型コネクター （コンバーター用電源出力、DC15V最大4W）
ビデオ1、2、3入力端子	S1映像（ビデオ1、2入力のみ）：4ピンミニDIN Y：1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負 C：0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω 映像：ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負 音声：ピンジャック、2チャンネル、500mVrms、インピーダンス 47kΩ
ビデオ出力端子	映像：ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負 音声：ピンジャック、2チャンネル、500mVrms、インピーダンス 5kΩ以下
ヘッドホン端子	ステレオミニジャック 負荷インピーダンス16Ω以上
BS出力端子	映像：ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負 音声：ピンジャック、2チャンネル、標準出力レベル 250mVrms（FS-18dB時）、出力インピーダンス 5kΩ以下
検波出力端子	ピンジャック、75Ω、0.67Vp-p
ビットストリーム出力端子	ピンジャック、75Ω、0.5Vp-p
デコーダー入力端子	映像：ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負 音声：ピンジャック、2チャンネル、標準入力250mVrms、インピーダンス47kΩ以上
AFC入力端子	ピンジャック、75Ω、0.5Vp-p

電源部・その他

消費電力	KV-28SF3：158W（リモコン待機時3.5W） KV-32SF7：158W（リモコン待機時3.5W）
年間消費電力量**	KV-28SF3：232kW•h／年 KV-32SF7：232kW•h／年

＊＊年間消費電力量とは：省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間（4〜5時間）を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。

最大外形寸法	KV-28SF3：75.4×51.5×53.8cm KV-32SF7：87.4×56.3×57.2cm （幅×高さ×奥行き）
質量	KV-28SF3：約47.8kg KV-32SF7：約65.6kg
電源	AC100V、50/60Hz
付属品	リモートコマンダー　RM-J210（1） 乾電池　単3型（1） アンテナコネクター（1） 取扱説明書（1） 保証書（1） ソニーご相談窓口のご案内（1） 安全のために（1） 安全点検のおすすめ（1）

別売りアクセサリー

テレビスタンド	SU-28SF1 SU-28V SU-32F1 SU-32V
ステレオヘッドホン	MDR-AV55
テレビラック固定ベルト	BLT-R10

BSアンテナなど
接続ケーブルなど

- このテレビは日本国内用ですから、電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

用語集

ID-1方式（ビデオ ID-1システム）
ビデオ信号の一部にデジタルのID記号を加算することにより画面の横縦比（16：9、4：3またはレターボックス）の情報を記録するシステムの名称です。本機はID-1方式に対応しています。
ID-1方式対応のビデオカメラやビデオデッキなどを、本機のビデオ1〜3入力端子（ビデオID-1システム対応端子）につなぐと、ID-1方式の映像となります。
ただし、あらかじめ、ビデオカメラなどで「ワイドTV」モードを「入」にして録画した画像に限ります。

アンテナレベル
アンテナから入ってくる電波の強さです。天候や気温、時間帯、アンテナケーブルの長さなどによって影響を受けます。

Aモード
BSで送信される音声の種類のひとつ。
音質はFM放送なみです。4チャンネルのうち2チャンネルを使って独立音声が放送されることがあります。
サンプリング周波数：32kHz
量子化：14/10ビット　準瞬時圧伸方式

FDトリニトロン管
従来のトリニトロン管に比べて、垂直方向に加え、水平方向にもフラットになった新しいトリニトロン管です。画像や文字情報を、画面の中央から画面の端まで、ゆがみのより少ない自然な映像でお楽しみいただけます。

S-1方式（S1映像）
S映像のC端子へ直流5Vを重畳することにより画面の横縦比（16：9または4：3）の情報を記録するシステムの名称です。本機はS-1方式に対応しています。
S-1映像出力端子が付いたビデオカメラなどを、前面パネルのビデオ2入力端子など、本機のS1映像入力端子にS映像ケーブルを使ってつなぐと、S-1方式の映像となります。
ただし、あらかじめ、ビデオカメラなどで「ワイドTV」モードを「入」にして録画した画像に限ります。

検波
衛星から送られてきた信号そのものを取り出すことです。検波信号を処理して、映像・音声に変換しています。

三次元Y/C分離回路
本機内部にある回路で、映像信号を構成するY信号とC信号を別々に処理し、より鮮明な画像を再現します。

シネマサイズ
映像ソフト画面の縦横比が1：2.35になっているものをこのように呼びます。ビスタサイズよりも横長になります。一般的には黒帯に字幕の入る映画などの画像サイズです。

スクランブル
映像、音声の信号を暗号化することです。民間衛星放送などでは、契約者以外には視聴できないように、電波にスクランブルをかけて（暗号化して）送信しています。スクランブルのかかった放送を視聴するためには、解読器（デコーダーなど）が必要です。

チューナー
電波を受け入れて各チャンネルに合わせるための機器です。
本機はテレビチューナーおよびBSチューナーを内蔵しています。

デコーダー
スクランブルのかかったBS放送などのスクランブルを解除して視聴するための解読器です。

独立音声放送
BSでは、ひとつのチャンネルでテレビ画面の音声とは別の、音声だけの放送が送られている場合があります。これが独立音声放送です。

ハイビジョン実用化試験放送
1997年5月現在、BS9チャンネルではMUSE方式ハイビジョン実用化試験局による放送が行われています。ハイビジョン放送を見るためには、MUSE-NTSCコンバーターが必要です。

Bモード
BSで送信される音声の種類のひとつ。
CDなみの高音質が楽しめるので、音楽番組などで使われています。
サンプリング周波数：48kHz
量子化：16ビット　直線量子化

ビットストリーム
衛星放送の電波で送られてくるデジタル信号です。音声とデータがデジタル化されています。

ビスタサイズ
映像ソフト画面の縦横比が1：1.85になっているものをこのように呼びます。
一般的には画像の中に字幕が入っている映画などの画像サイズです。

偏波
衛星放送の電波の流れの型です。
BSは円偏波です。

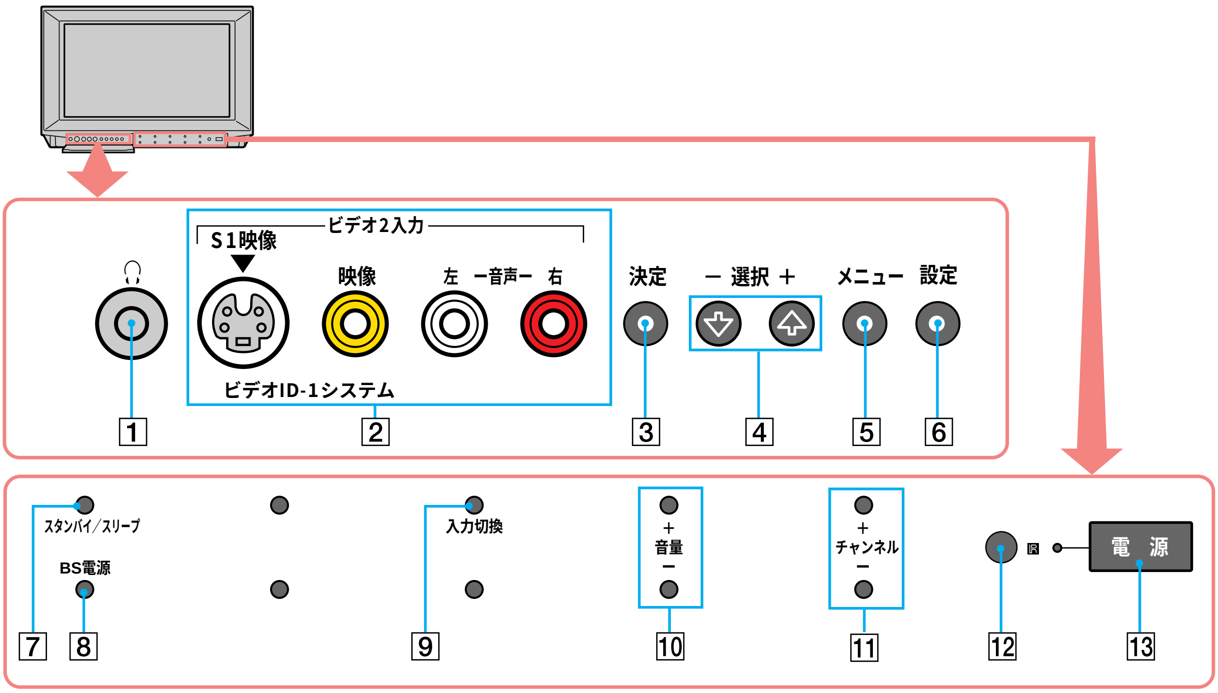
MUSE
ハイビジョンの帯域圧縮伝送方式です。
27MHzのハイビジョンの信号を8MHzに圧縮して、衛星放送の1チャンネル分で送れるようにしています。

MUSE-NTSCコンバーター
MUSE方式のハイビジョン放送を現行放送方式（NTSC）に変換するための機器です。画質は現行放送方式（NTSC）と同等になります。

各部の名前／Identification of controls

本体前面／TV Front Panel

KV-28SF3

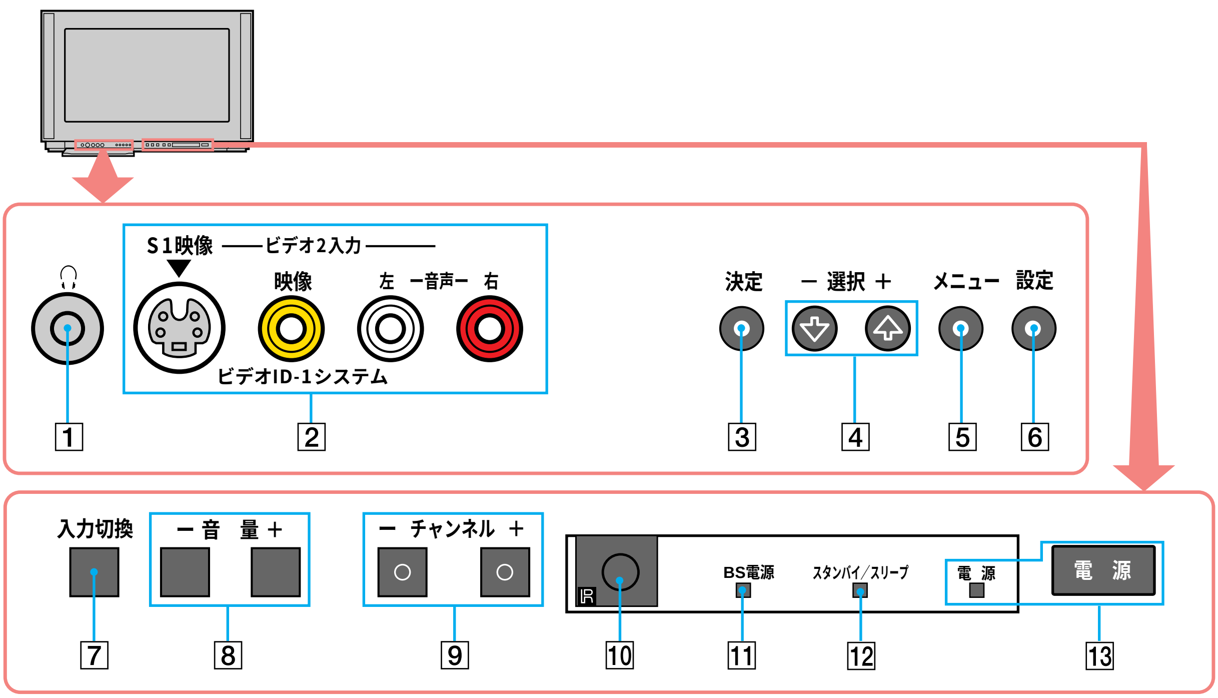


1 ヘッドホン端子☞13ページ
2 ビデオ2入力端子☞48ページ
　S1映像端子
　映像端子
　音声（左）端子
　音声（右）端子
3 決定ボタン
4 選択＋／ーボタン
5 メニューボタン
6 設定ボタン☞34ページ
7 スタンバイ／スリープランプ☞2、51ページ
8 BS電源ランプ☞26ページ
9 入力切換ボタン
10 音量＋／ーボタン☞2ページ
11 チャンネル＋／ーボタン☞2ページ
12 リモコン受光部
13 電源スイッチ／ランプ☞2ページ

1 Headphones jack page 13
2 VIDEO 2 input jacks page 48
　S1 -Video jack
　Video in jack
　Audio-L jack
　Audio-R jack
3 Enter button
4 Select +/– buttons
5 Menu button
6 Preset button page 34
7 Standby/Sleep indicator pages 2, 51
8 BS (Broadcast Satellite) Power indicator page 26
9 Input Select button
10 Volume +/– buttons page 2
11 Channel +/– buttons page 2
12 Remote Control sensor
13 Power switch/indicator page 2

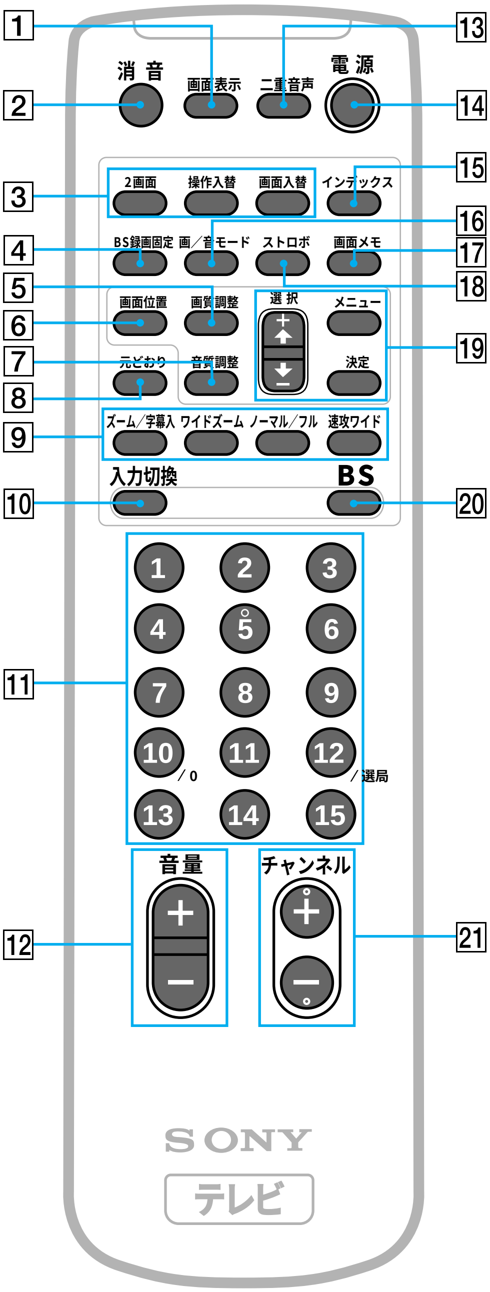
つづく

KV-32SF7



1 ヘッドホン端子☞13ページ
2 ビデオ2入力端子☞48ページ
　S1映像端子
　映像端子
　音声（左）端子
　音声（右）端子
3 決定ボタン
4 選択＋／－ボタン
5 メニューボタン
6 設定ボタン☞34ページ
7 入力切換ボタン
8 音量＋／－ボタン☞2ページ
9 チャンネル＋／－ボタン☞2ページ
10 リモコン受光部
11 BS電源ランプ☞26ページ
12 スタンバイ／スリープランプ☞2、51ページ
13 電源スイッチ／ランプ☞2ページ

1 Headphones jack page 13
2 VIDEO 2 input jacks page 48
　S1 -Video jack
　Video in jack
　Audio-L jack
　Audio-R jack
3 Enter button
4 Select +/– buttons
5 Menu button
6 Preset button page 34
7 Input Select button
8 Volume +/– buttons page 2
9 Channel +/– buttons page 2
10 Remote Control sensor
11 BS (Broadcast Satellite) Power indicator page 26
12 Standby/Sleep indicator pages 2, 51
13 Power switch/indicator page 2



リモコン

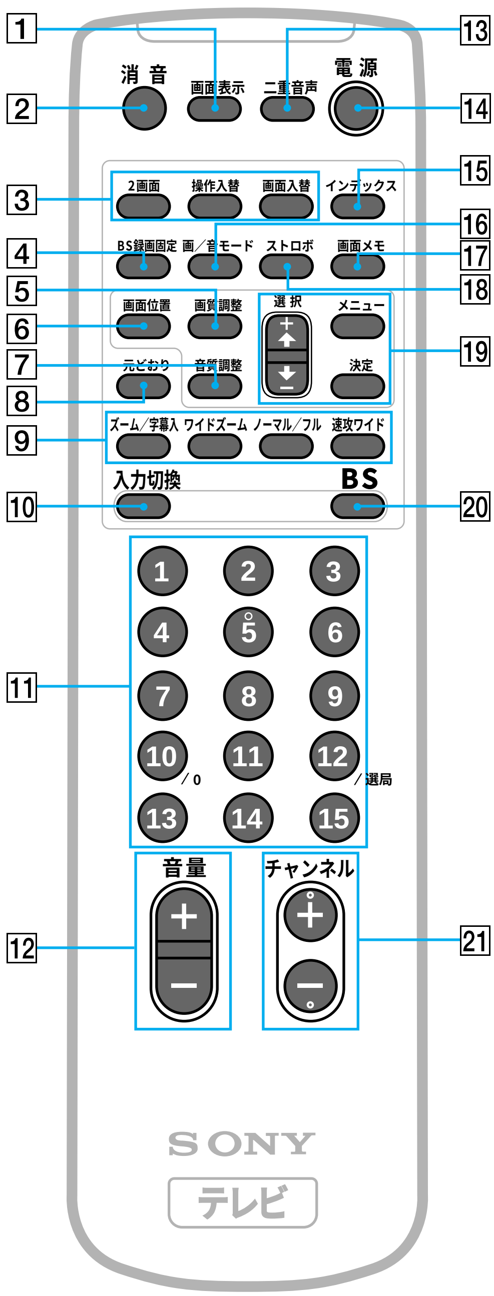
1 画面表示ボタン☞3ページ
2 消音ボタン☞3ページ
3 2画面操作部☞11ページ
4 BS録画固定ボタン☞26ページ
5 画質調整ボタン☞23ページ
6 画面位置ボタン☞9ページ
7 音質調整ボタン☞24ページ
8 元どおりボタン*☞50ページ
9 ワイド画面操作部☞8ページ
10 入力切換ボタン☞20ページ
11 チャンネル数字ボタン☞15ページ
12 音量＋／ーボタン☞3ページ
13 二重音声ボタン☞27ページ
14 電源スイッチ☞3ページ
15 インデックスボタン☞15ページ
16 画／音モードボタン☞22ページ
17 画面メモボタン☞19ページ
18 ストロボボタン☞18ページ
19 メニューボタン☞6ページ
選択＋／ーボタン☞6ページ
決定ボタン☞6ページ
20 BSボタン☞2、21ページ
21 チャンネル＋／ーボタン☞3ページ

＊ 元どおりボタンは、誤って押されないように、奥に引っこんだボタンになっています。

その他

つづく

各部の名前／Identification of controls（つづき）



Remote Control

1 Display button page 3
2 Muting button page 3
3 Twin Picture Operation buttons page 11
4 BS recording button page 26
5 Picture Adjust button page 23
6 Picture Position button page 9
7 Sound Adjust button page 24
8 Reset button* page 50
9 Wide Mode Select buttons page 8
10 Input Select button page 20
11 Channel Number buttons page 15
12 Volume +/– buttons page 3
13 Audio Mode (Bilingual) button page 27
14 Power switch page 3
15 Index button page 15
16 Picture/Sound Mode button page 22
17 Screen Memo button page 19
18 Strobe button page 18
19 Menu button page 6
Select +/– buttons page 6
Enter button page 6
20 BS (Broadcasting Satellite) button pages 2、21
21 Channel +/– buttons page 3

* The Reset button is recessed to prevent involuntary operation of the remote control.

索引